



商辦本溪湖煤鐵有限公司

創立十週年紀念寫真帖



上海图书馆藏书



A541 212 0008 4237B

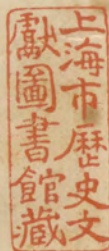


民國九年

地不

愛寶

張作霖



風伯吹爐  
雲師煉冶  
鐵燄朝流  
金精夜下

八十四雙



序

煤鐵之利二十世紀資之最大  
凡以促進文明愛哉無倫國家  
社會用之幾如吾人之與布帛  
菽粟斯須而不可離知其利者  
率集鉅款以舉一公司相山原  
之韜藏而購置機械招募工役  
以從事於採掘及其成功而效  
用斯公司之規模已必有可觀  
蓋團體事業宜大宜久絕非一  
手一足之烈而旦夕得以期之  
者也本溪湖煤鐵公司創辦及



今十年組織之完備成績之良  
好雖不敢遠企諸歐美友邦之  
會社偉業然在我國之實業界  
中得此則已難能而可貴席此  
基也而擴張之不必進規乎全  
國即就此滿洲之富原已足興  
無等之大利便民裕國殊稱先  
河則此紀念寫真帖是吾人所  
應珍寶之者也 海清忝任督辦  
自維無所勞勩而樂觀厥成用  
綴數言以為之序

民國九年三月關海清識於奉天交涉署



楫嘗謂創業由於學問而作業尤賴乎  
心力之堅恒氣候無暑不寒際遇無春  
不否見難而退雖有良會亦只圖一  
時之快意而不能保永久之安全奉天向  
為產礦之區然清光緒甲午之前不  
特作礦者鮮聞即談礦者亦不數  
睹自將軍誠勇公依克唐阿鑒於世  
界大勢具特識抗衆議委員四出察  
勘非有閩官禁者均准報採於是各  
礦之名始發現於社會之耳目一時報  
領開採之輩紛擾絡繹於途一若  
朝聞採而暮即可得利也者迺或二  
三月或五六月長不過一二年報荒閉  
者又十之八九此何故哉蓋學識既不  
足以斷礦之有無而經濟又不足以充礦  
之費用冒然從事一遇阻力即日不可  
為矣委而古之無惑乎其進銳而其  
迅速也嗟二十年来或獨辦或合辦  
在奉採礦者不識若干人而成五獲利能



處於不敗之地者無有也有之自今漢  
湖煤鐵公司始公司以時祿之開鑿為  
中日合辦之生涯開辦於宣統二年五  
月至民國九年五月為十年之期公司  
始業煤鐵兼業鐵資本由二百萬元  
遞增至七百萬元每日出煤由數百噸  
遞增至千數百噸每日出鐵由數十噸  
遞增至二百數十噸每年純利益全  
由數萬元數十萬元遞增至二百數十  
萬元進步之速如雲之蒸日上噫抑  
何感歎詎知此十年中創造經營我  
費籌畫同力合作備歷艱辛前此之  
經過如斯後此之希望奚若楫也拙願  
隨兩國同人後以無盡之心力究無盡之  
學術擴無盡之事業以求無盡之利益  
并為兩國實業界增無盡之光榮此即  
楫之所大願也是為序

二等嘉禾章本漢湖煤鐵公司總辦談國楫謹序





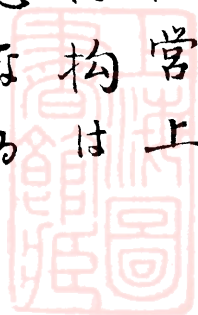
抑も滿洲の地たるや由來久しく富源の淵叢を以て稱せらるゝも未だ開けざ交通猶全たからさりを以て此の天與の寶庫を空しく地下に埋藏して顧みざるの状態にありき我が公司は即ち進んで此の寶庫を開發利導して普ねく是を世間に紹介し聊か國利民福に貢獻せんと欲する目的を以て明治四十三年五月二十二日大倉男爵の勇斷に依り時の清國東三省總督錫良との間に於て始めて創立したる日華合辦會社の最初のものに屬す回顧すれば公司創立の當時は戰禍の後を承けて民生猶ほ其堵に安んぜず四圍の状態轉た廢頽を極め日常物資すら供給容易ならざる時なりき隨て事業經營上至大の關係を有する唯一の交通機關は所謂規模

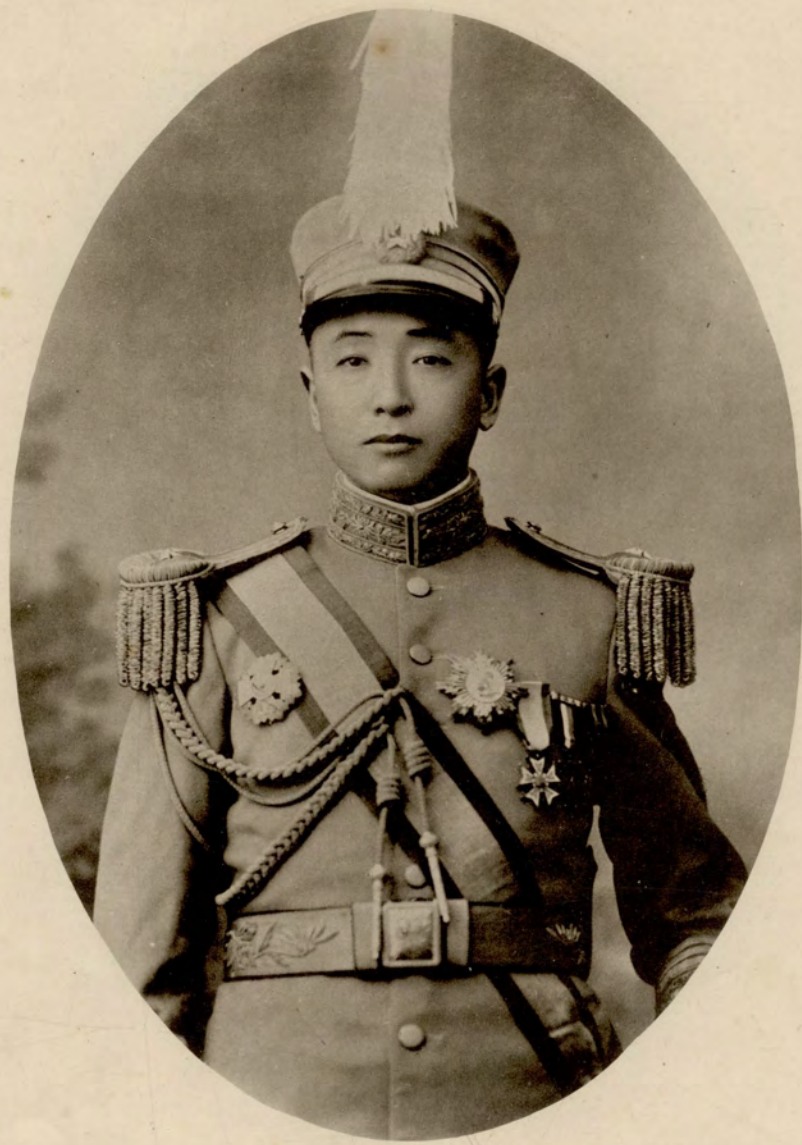


狭小なる輕便軌道に過ぎず經營上  
多大の不便と苦痛を感ぜしに構は  
らず時勢の進運は瞬時も姑息なる  
停滯を許さざるを豫見し其の創立  
の年初に於て断然採炭事業に加ふ  
るに製鐵事業兼營の方針を樹立し  
爾來交通機關の完成と公司内部に  
於ける諸般設備の充實と相俟て時  
に祝融の災あり河伯の禍あり險難  
頻りに續生したりと雖も而も着々  
として顯著なる發展を示せり  
烏光匆匆創立以來早くも十週年の  
星霜を閱す已往を回顧して多少の  
感興無き克はず茲に此の佳辰に際  
し記念寫真帖を發行し以て本事業  
の現況一斑を廣く江湖に紹介すと  
云爾

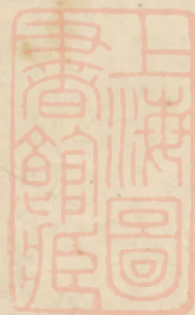
大正九年五月二十二日

商辦本溪湖煤鐵有限公司總辦 島岡亮太郎



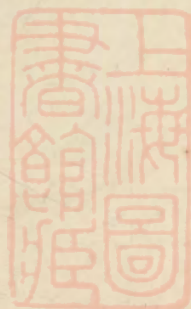


張作霖 東三省巡閱使兼督軍省長





男爵大倉喜八郎

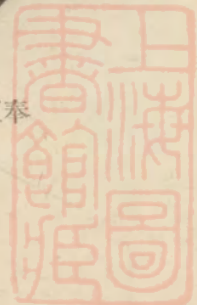




大倉鑛業株式會社副會長 大倉喜七郎



奉天財政廳長 王永江

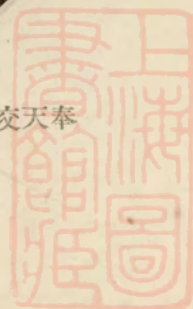




桓國談長廳業實天奉



清海關辦督司公員涉交天奉

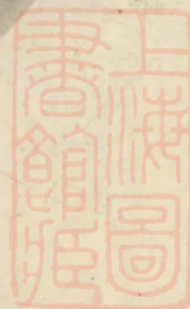




總辦談國楫



總辦島岡亮太郎

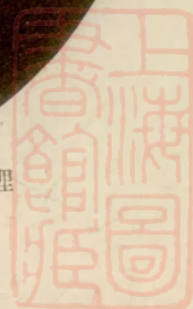




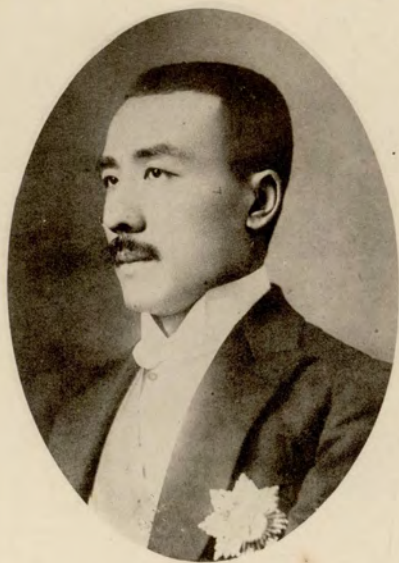
基世趙事理



郎太幾林事理



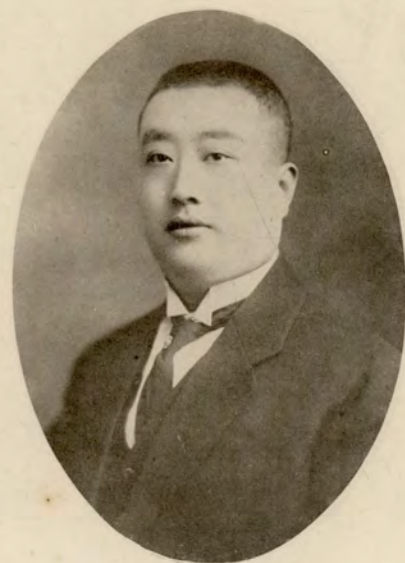




吳鼎昌 前總辦



巢鳳崗 前總辦



張書 前總辦



王善宰 前總辦



趙故臣 前總辦

吳總辦崎照片函請未寄未及列入



孫真 前總辦



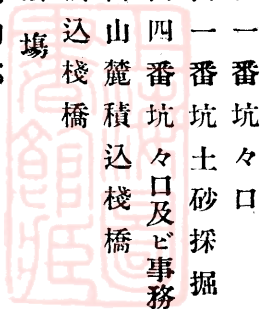
管鳳銖 前總辦

寫真目錄

錄

一	採炭部坑務科事務所
二	第壹坑々口
三	第貳坑々口
四	第參坑々口
五	第四坑々口
六	第參坑捲場
七	貯炭場全景
八	選炭場全景
九	選炭場內部
一〇	洗炭場全景
一一	洗炭場內部
一二	土法骸炭爐
一三	團鑛場全景
一四	石灰石採掘場
一五	石灰石運搬安全索道
一六	分拆所內部
一七	第一熔鑛爐全景
一八	南熔鑛爐全景
一九	第一熔鑛爐出銑之光景
二〇	銑鐵積込場
二一	鐵鑛石置場
二二	第二汽罐場
二三	第二汽罐場內部
二四	發電所附近
二五	發電所內部
二六	水道聚水塔及唧筒室
二七	本溪湖變電所
二八	本溪湖變電所內部(其一)
二九	本溪湖變電所內部(其二)
三〇	中央工場全景
三一	中央工場鍛冶場
三二	中央工場製罐場
三三	中央工場木型場
三四	中央工場鑄物場
三五	中央工場旋盤場
三六	附屬病院
三七	日用品配給所
三八	配給所陳列場
三九	倉庫全景
四〇	坑木置場
四一	廟兒溝鐵山全景
四二	廟兒溝鐵山鑛床露頭

四三	廟兒溝鐵山一番坑々口
四四	廟兒溝鐵山一番坑土砂採掘場
四五	廟兒溝鐵山四番坑々口及ビ事務所
四六	廟兒溝鐵山山麓積込棧橋
四七	南坎鑛石積込棧橋
四八	南坎選鑛場
四九	南坎選鑛場內部
五〇	南坎變電所內部(其一)
五一	南坎變電所內部(其二)
五二	橋頭變電所
五三	八盤嶺鐵山全景
五四	八盤嶺鐵山鑛石採掘場
五五	通遠堡鐵山
五六	駱駝背子鐵山全景
五七	駱駝背子鐵山舊坑跡
五八	載金峪鐵山
五九	歪頭山鐵山
六〇	太河沿鐵山(其一)
六一	太河沿鐵山(其二)
六二	梨樹溝鐵山(其一)
六三	梨樹溝鐵山(其二)
六四	隱樹望溝坑木用山林
六五	茨跨溝坑木用山林
六六	公司本事務所
六七	鶴友俱樂部
六八	中國總辦舍宅
六九	日本總辦舍宅
七〇	日本理事舍宅
七一	溪陽舍(職員合宿)
七二	東山職員舍宅
七三	西山職員舍宅
七四	南山日本職工舍宅
七五	南山華工舍宅(其一)
七六	南山華工舍宅(其二)
七七	殉職者追悼碑
七八	西山ヨリ瞰タル本溪湖全景
七九	本溪湖市街全景(一枚ニテ全景トナル)
八〇	本溪湖日本街
八一	本溪湖中國街
八二	太子河鐵橋
八三	兜山之景

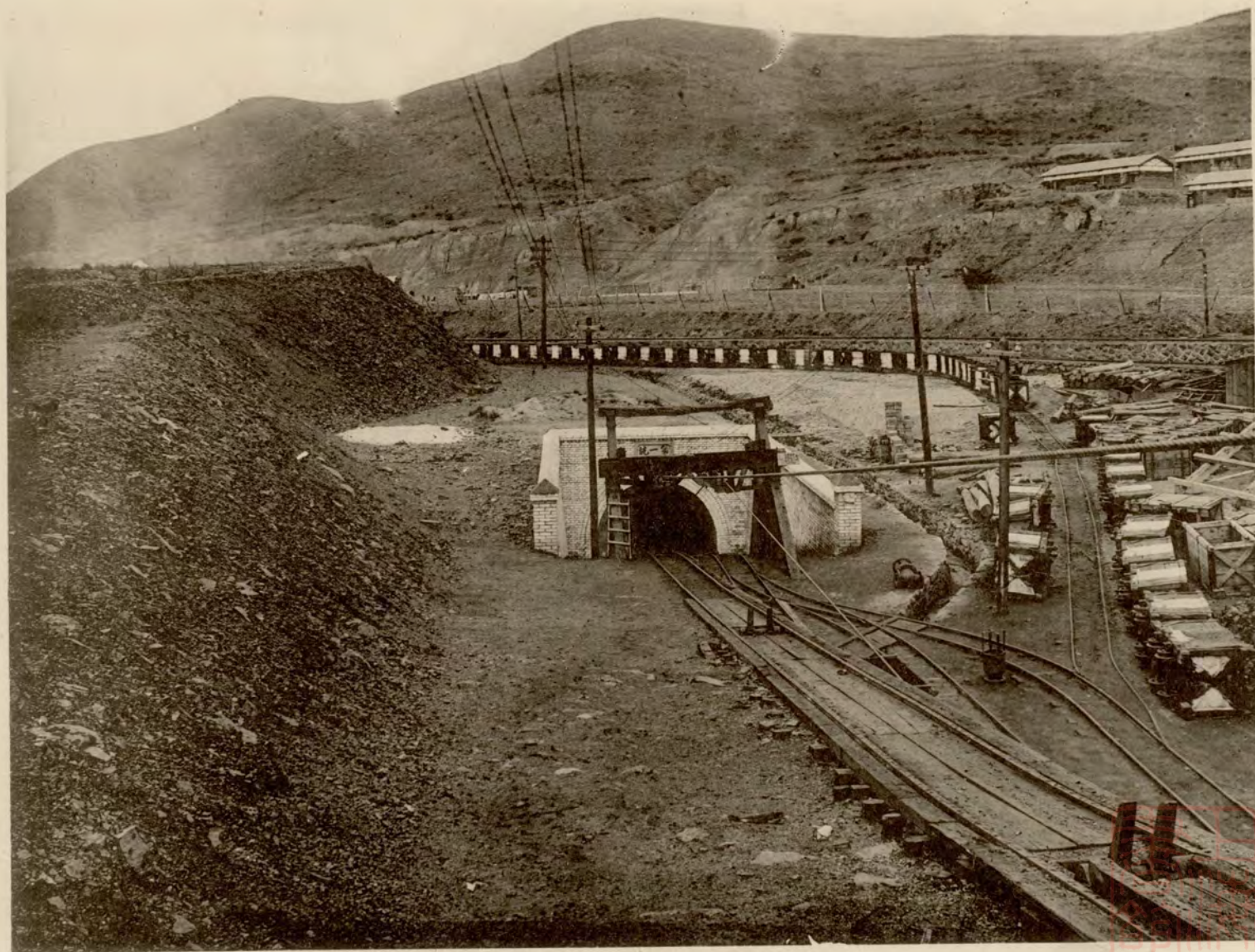




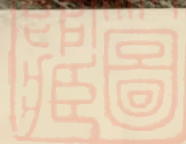
( 一 )

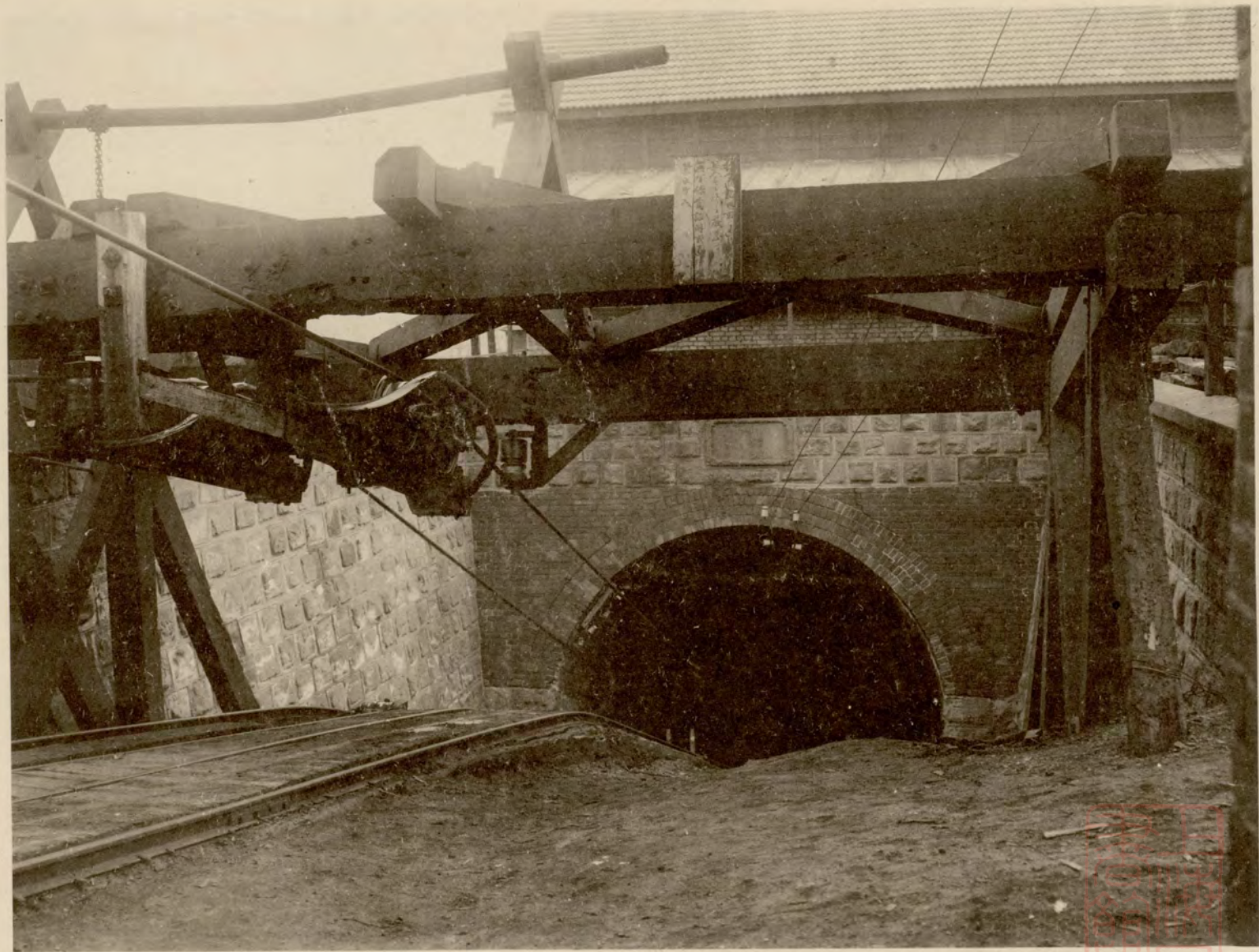
探 炭 部 坑 務 科 事 務 所





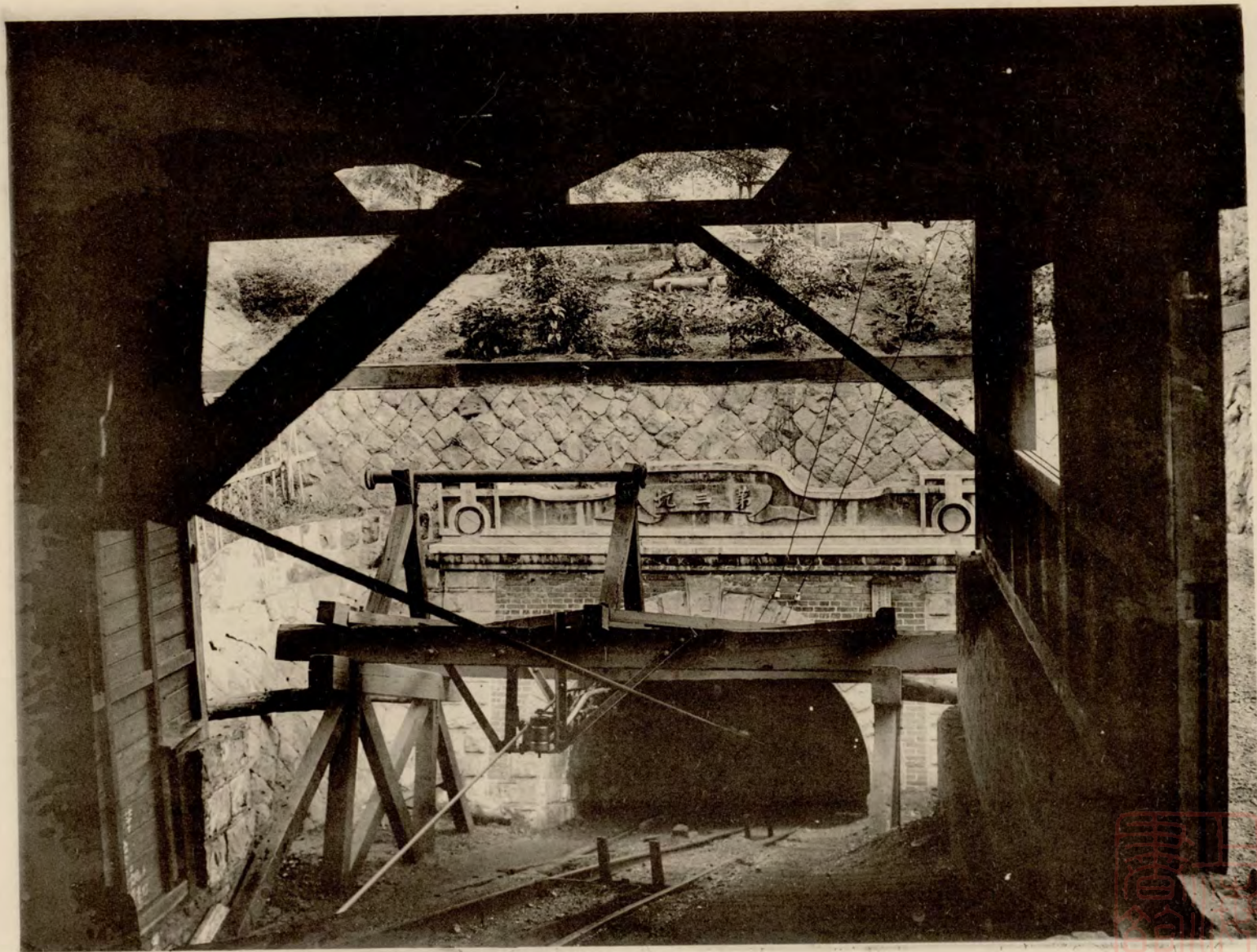
第 壹 坑 ( 二 ) 口





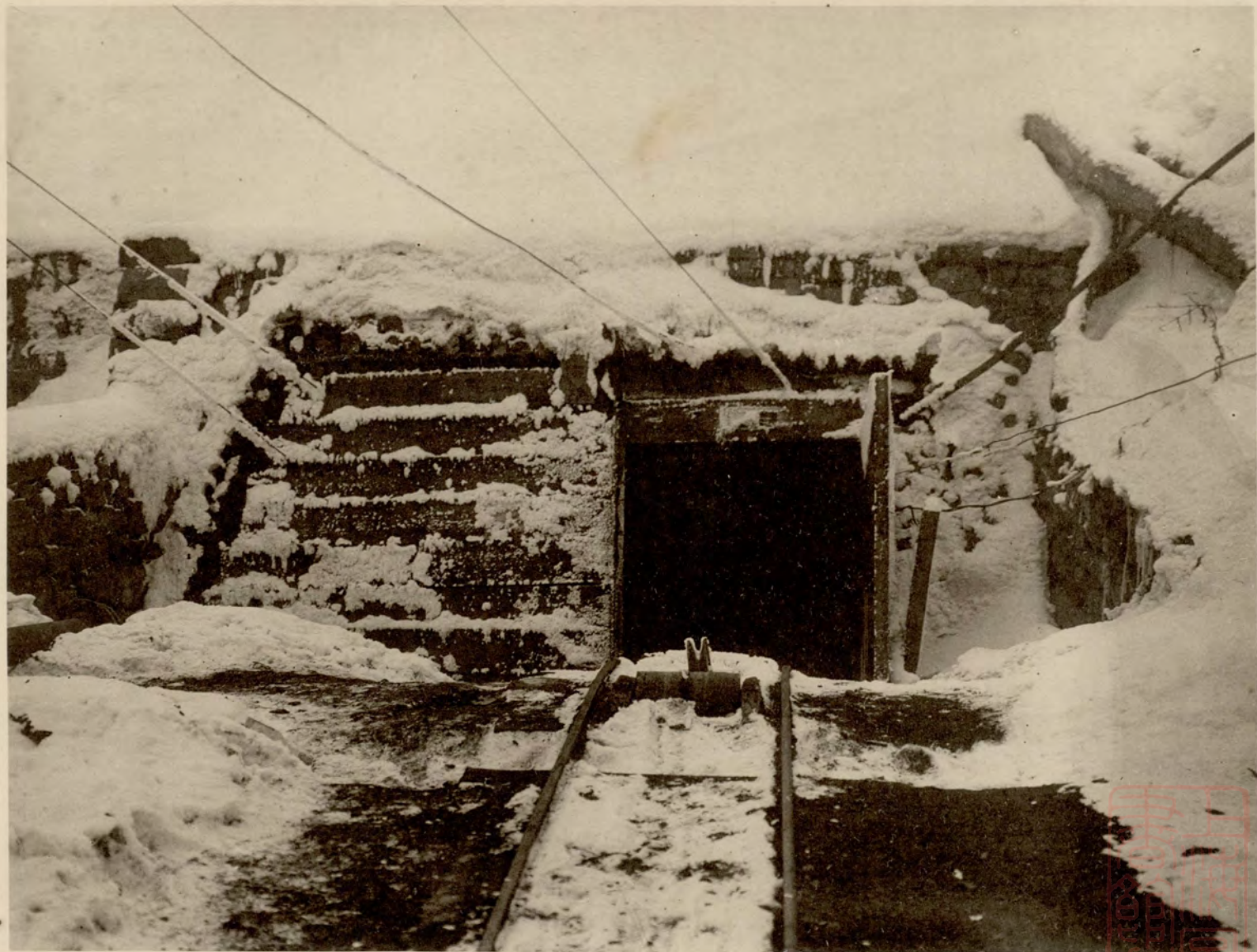
( 三 )  
口 々 坑 貳 第





第 三 參 坑 ( 四 ) 口

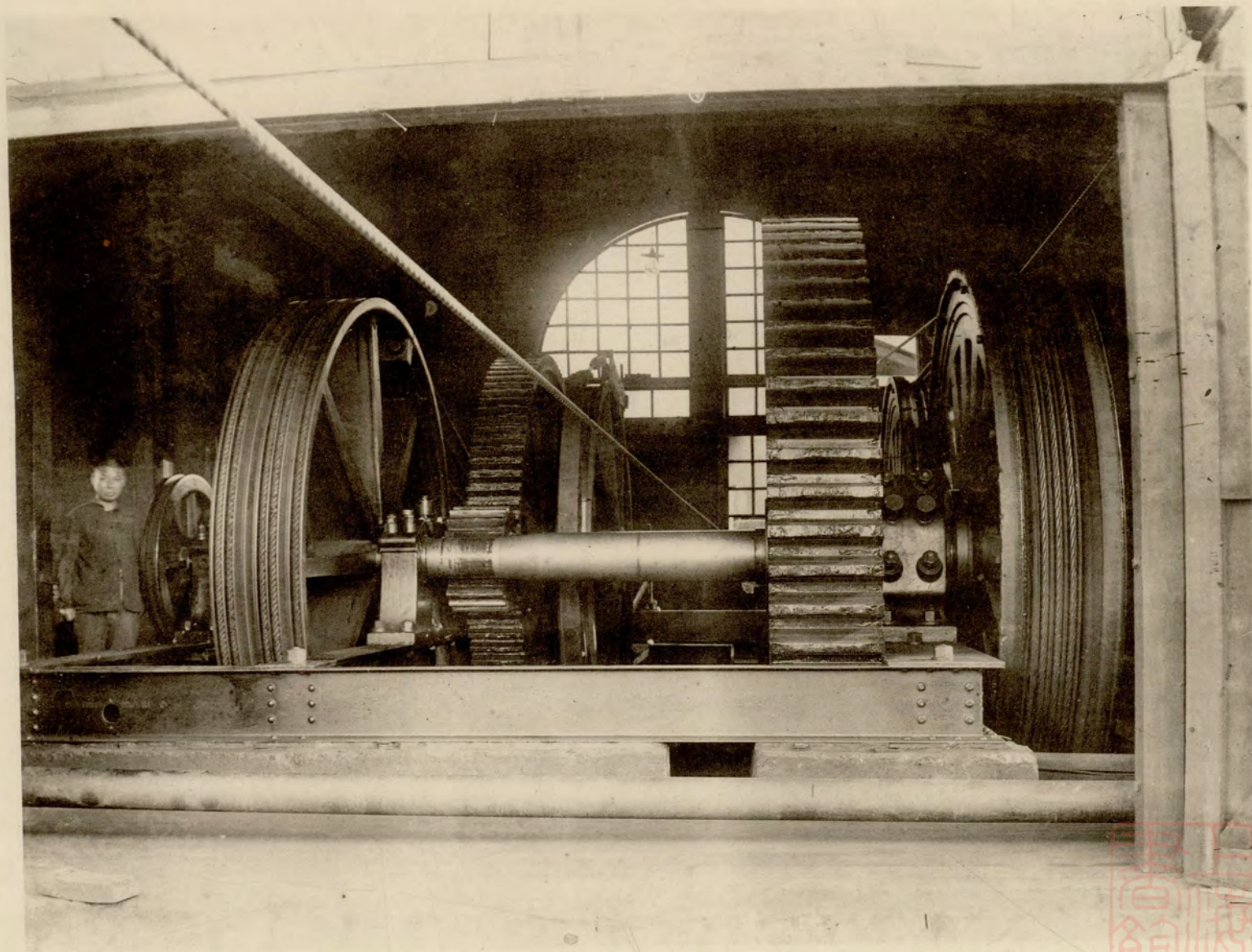




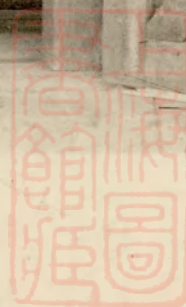
( 五 )

口 々 坑 四 第





第 三 參 坑 捲 場 ( 六 )







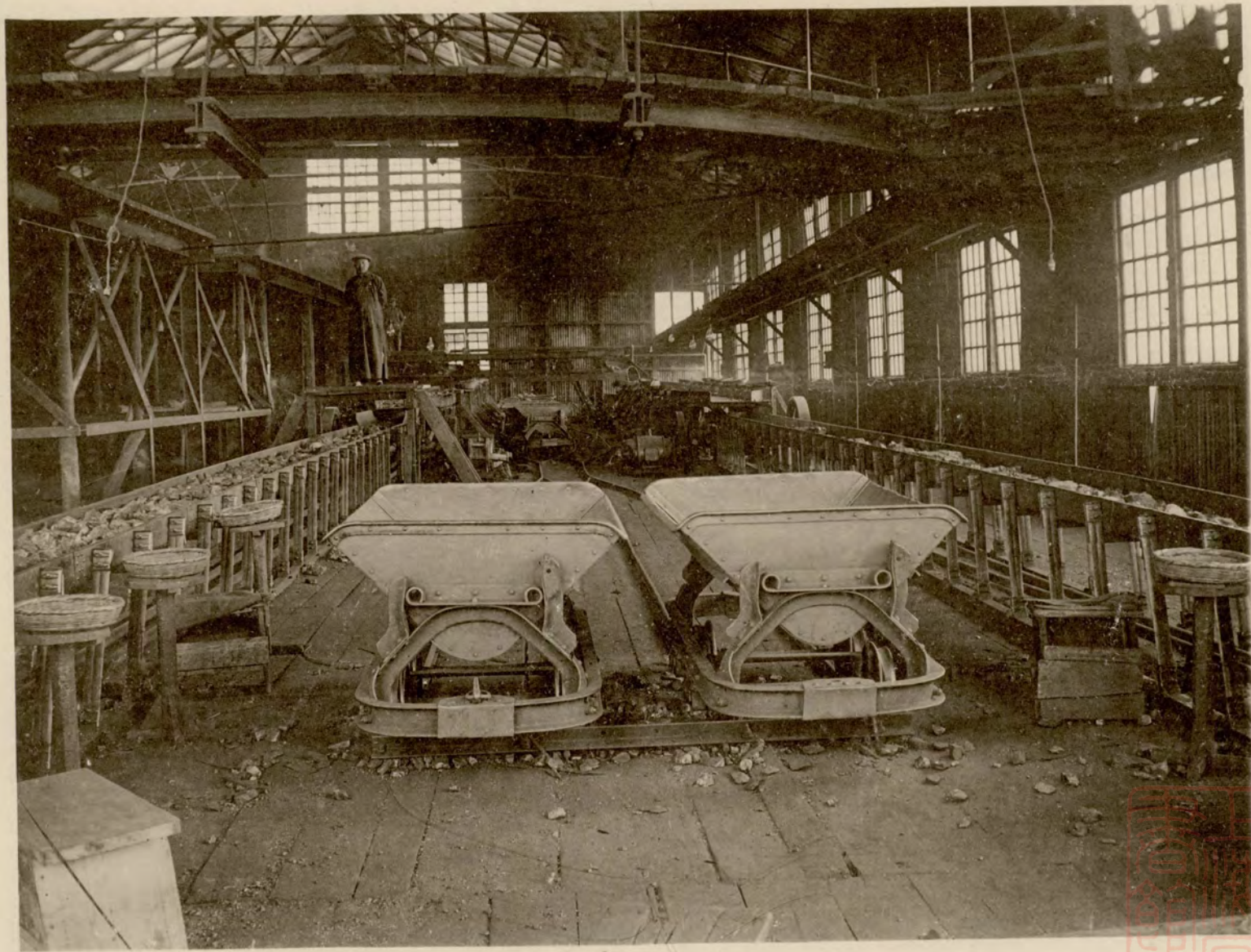
貯炭場全景 (七)





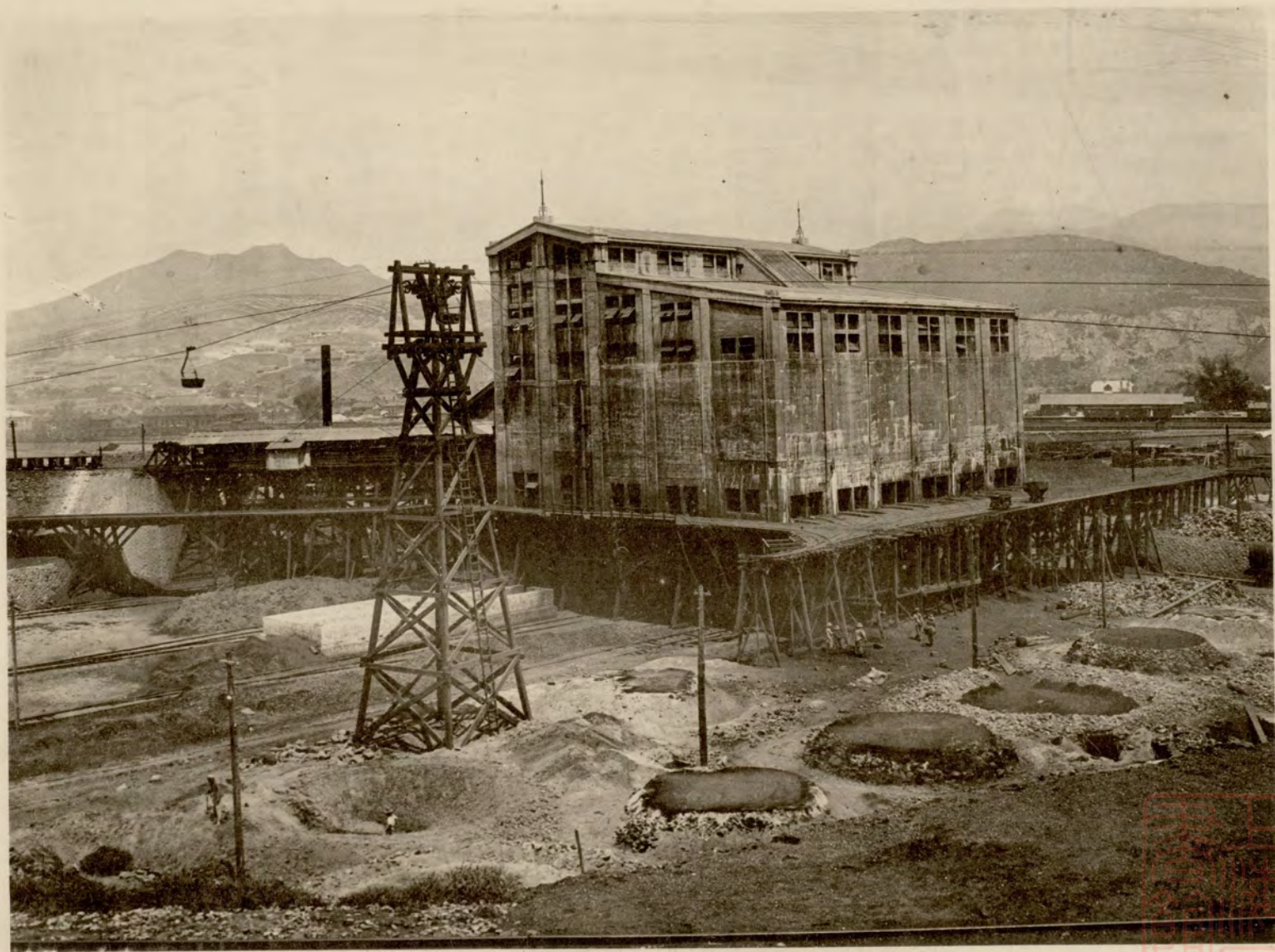
(八)  
選炭場全景





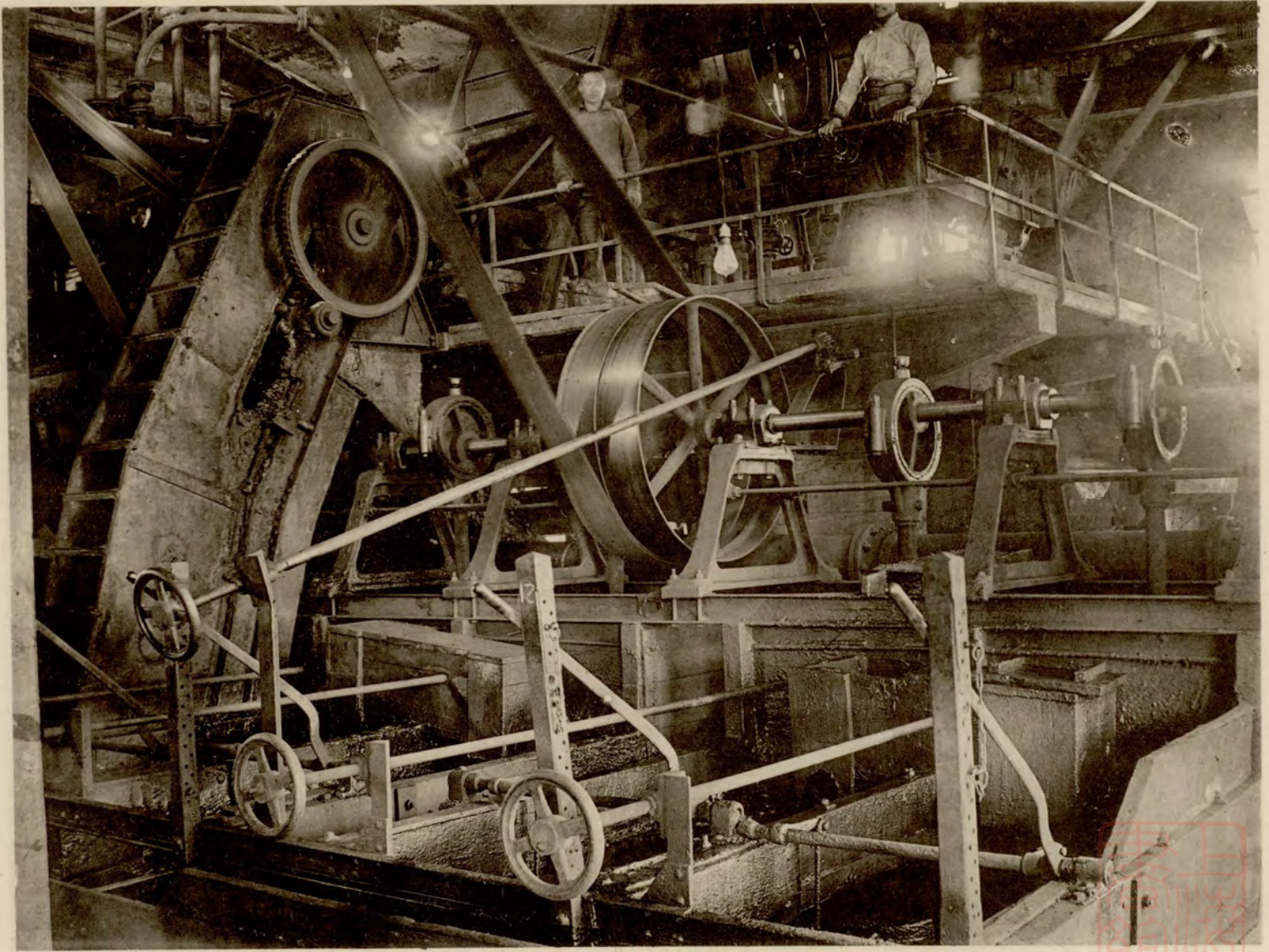
選 炭 場 內 部 ( 九 )





( 十 )  
洗 炭 場 全 景





(一十)

部 內 場 炭 洗

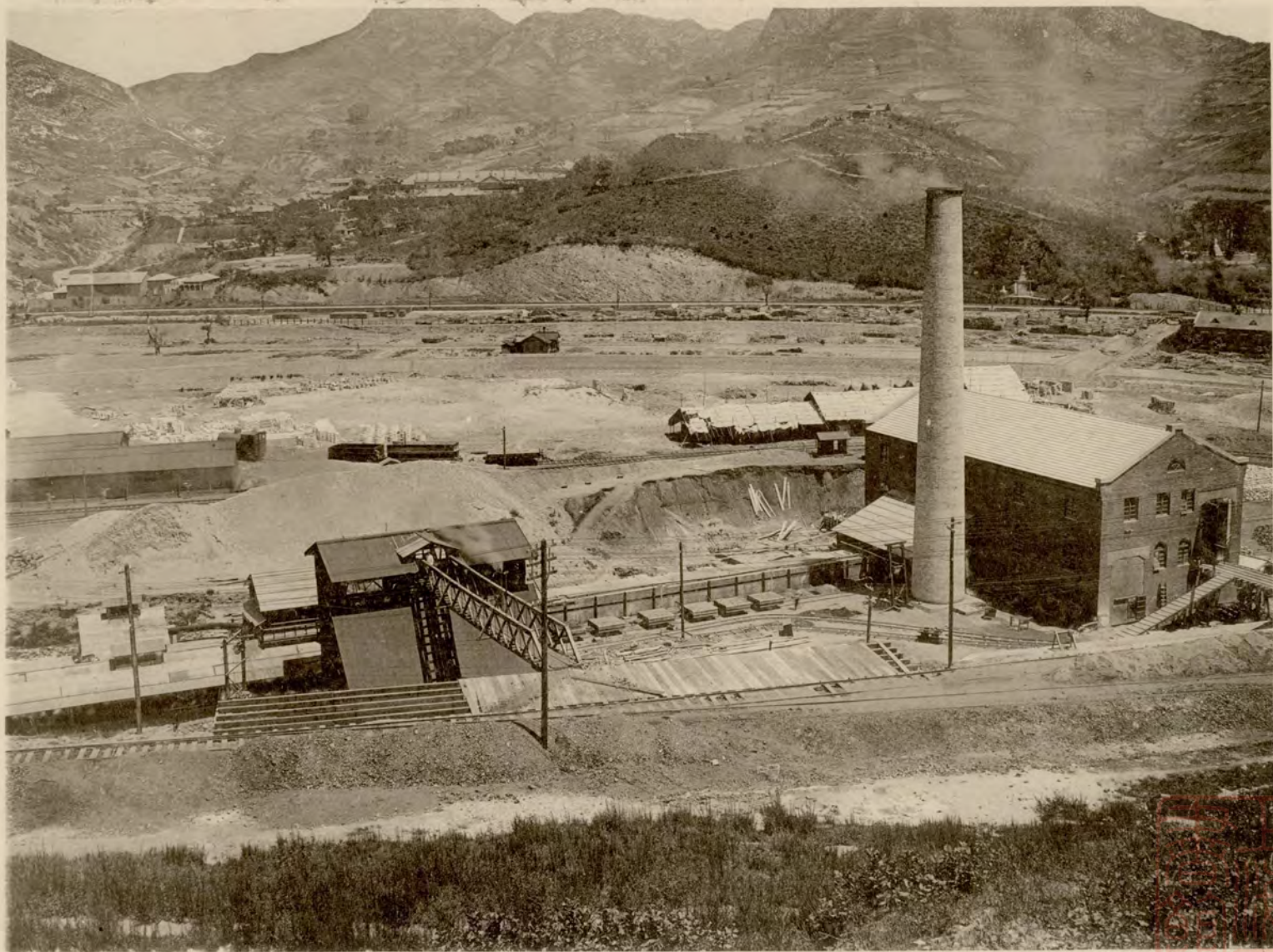




(二十)

土 法 骸 炭 爐





(三十)

園 鑛 場 全 景



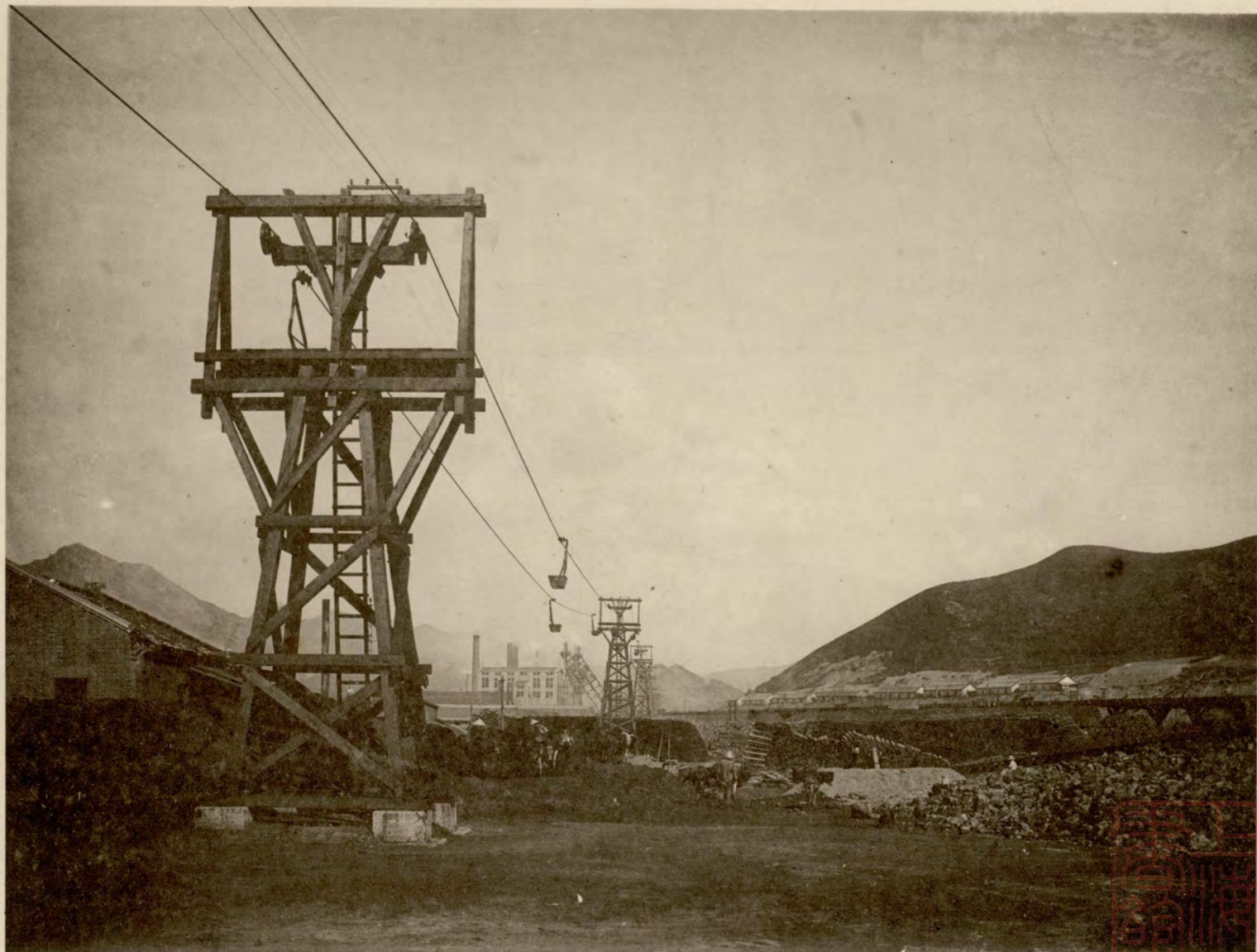


(四十)

場 堀 採 石 灰 石



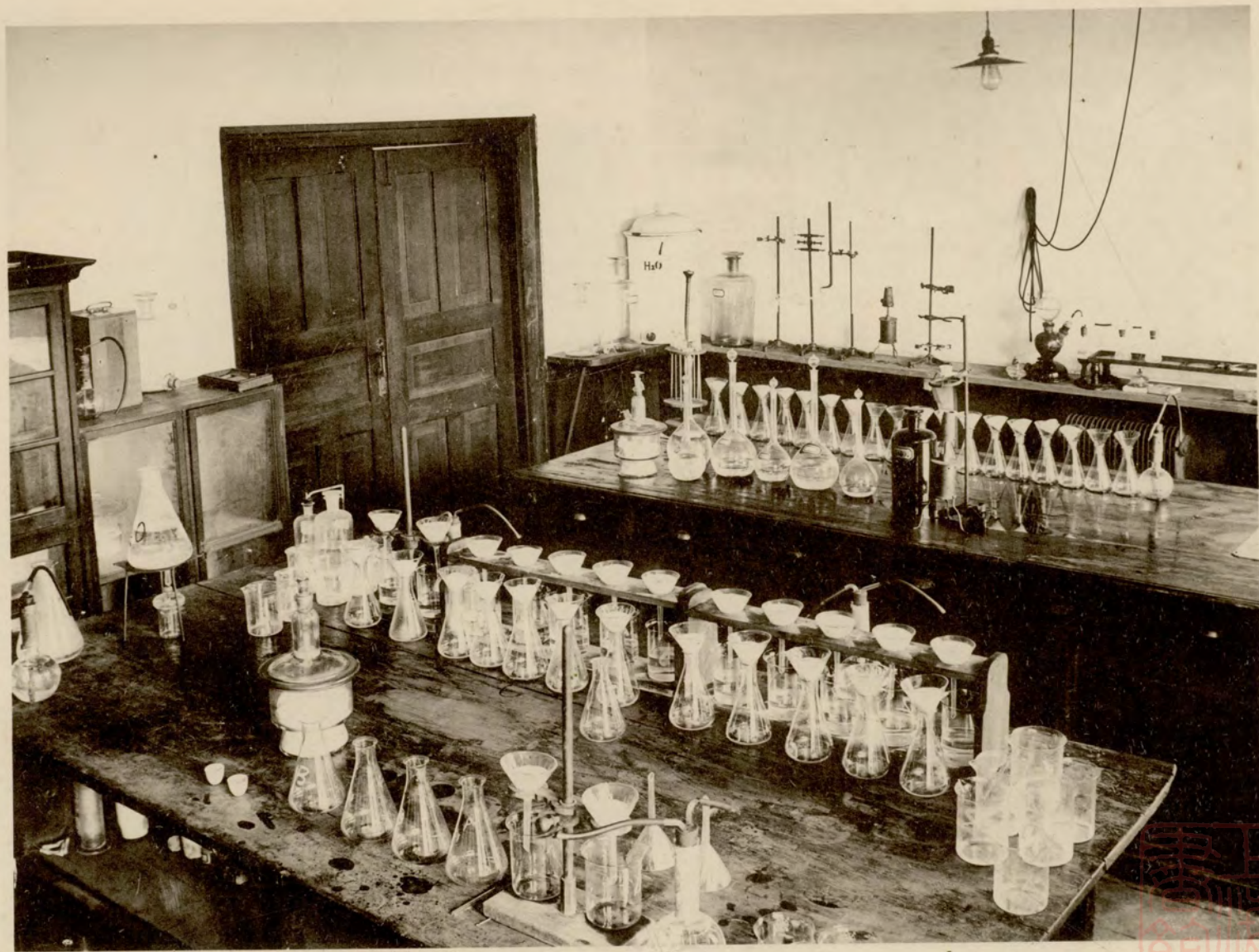




(五十)

道索全安搬運石灰石

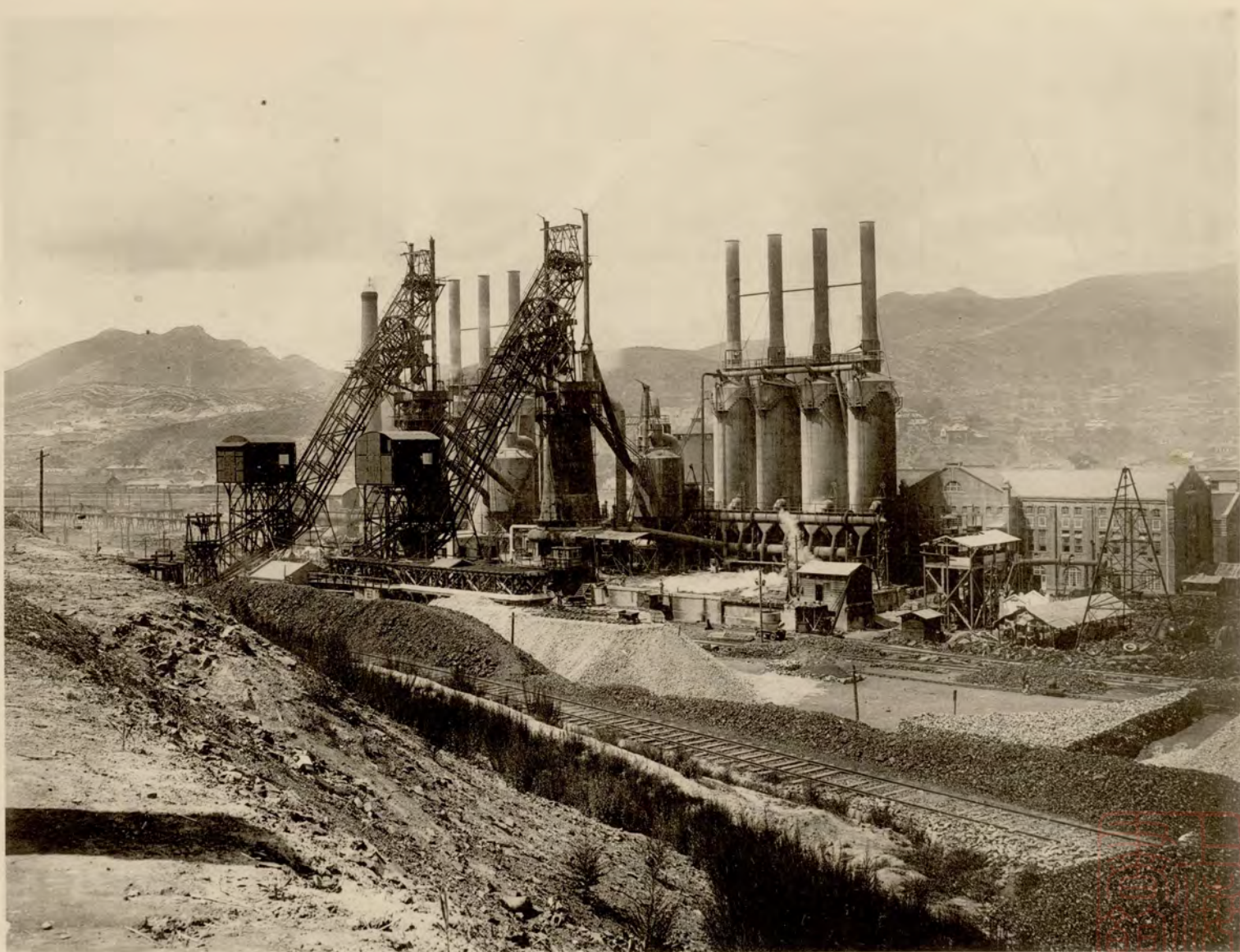




(六十)

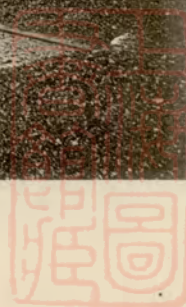
部 內 所 拆 分





(七十)

景全爐鑛熔壹貳第

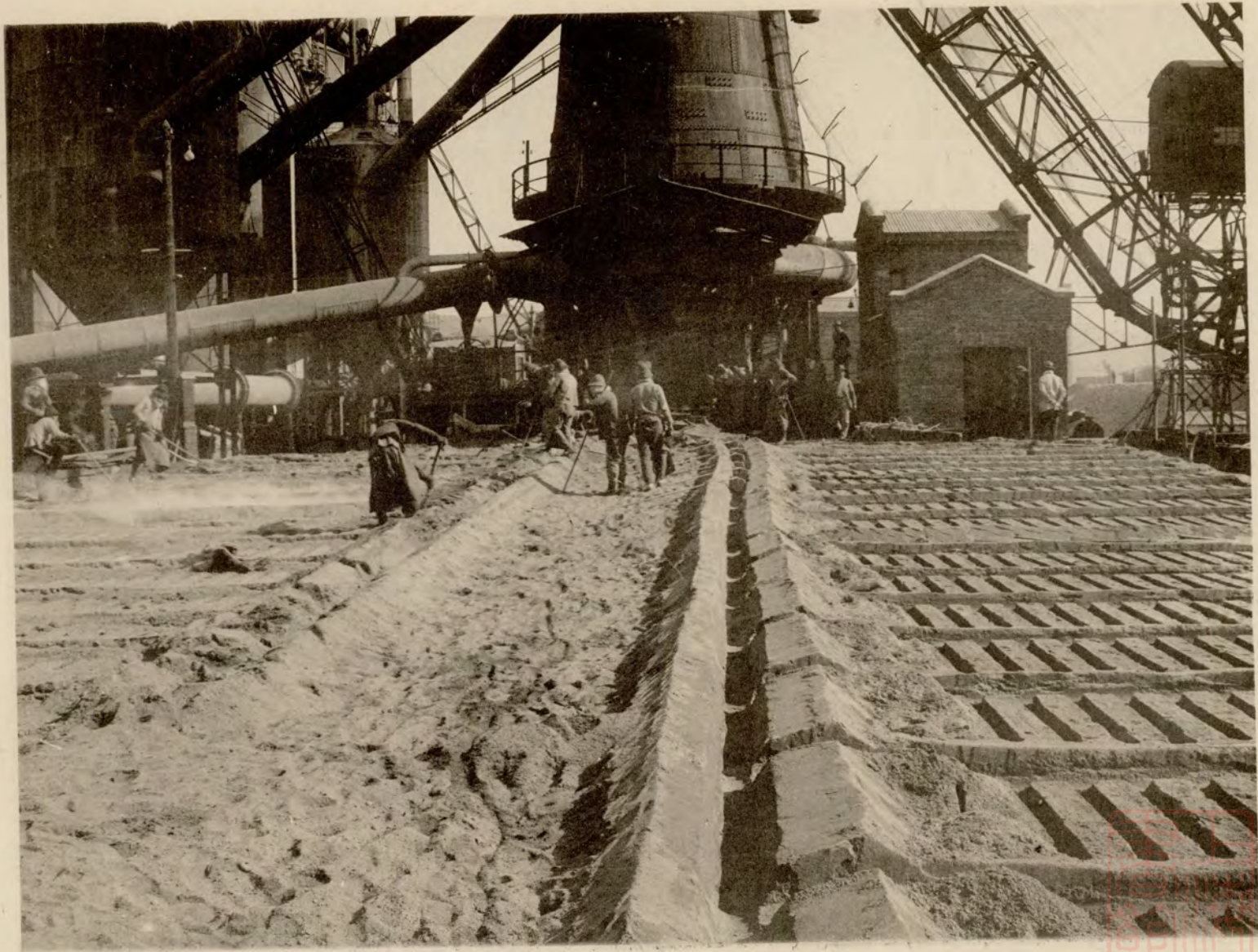




(八十)

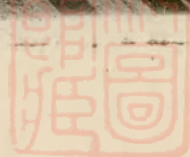
南 熔 鑛 爐 全 景





— (九十) —

第一煉鐵爐出銑之光景





(十二)

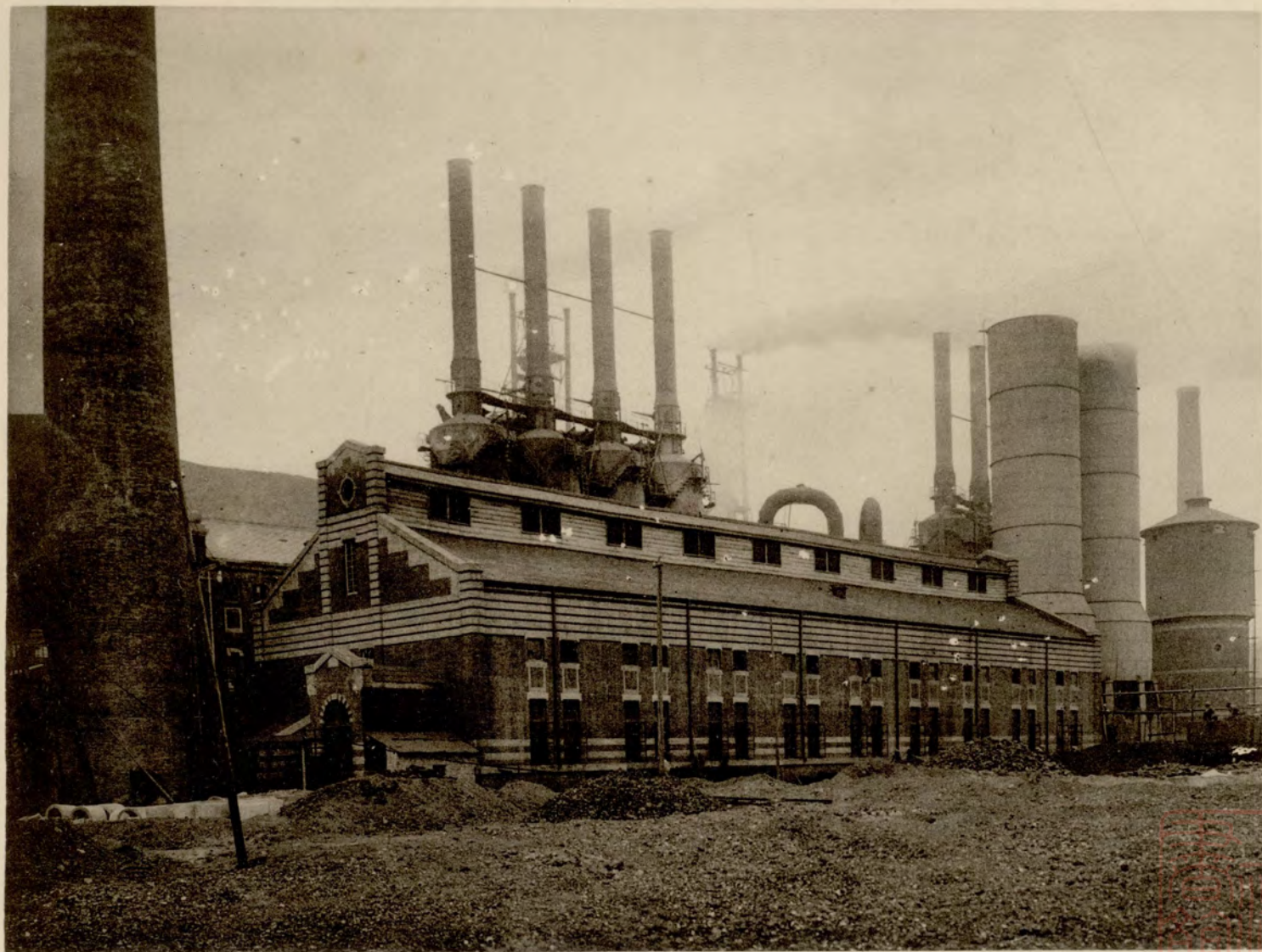
銑鐵積込場





(一十二)  
鐵 鑛 石 置 場



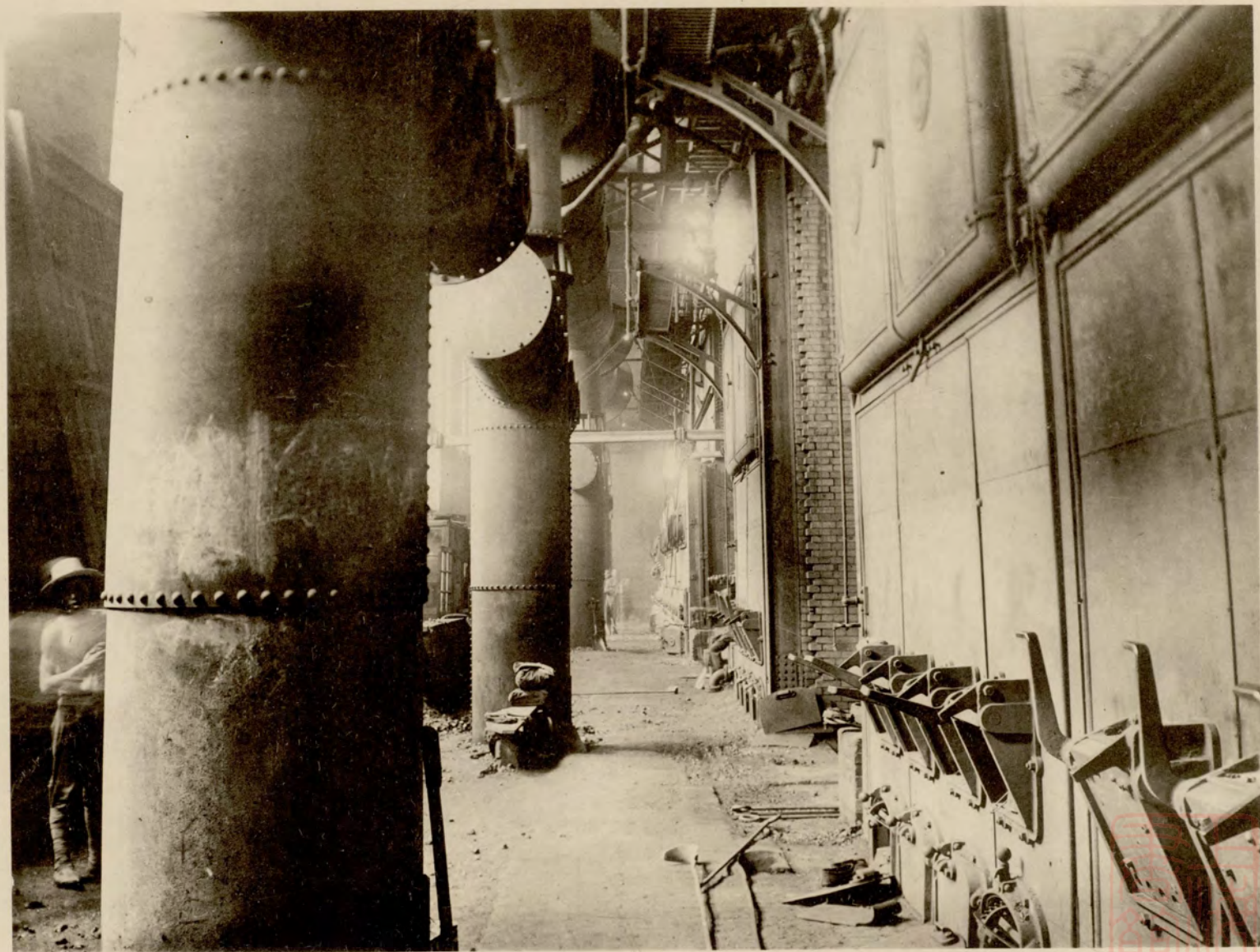


(二十二)

第 貳 式 汽 罐 場



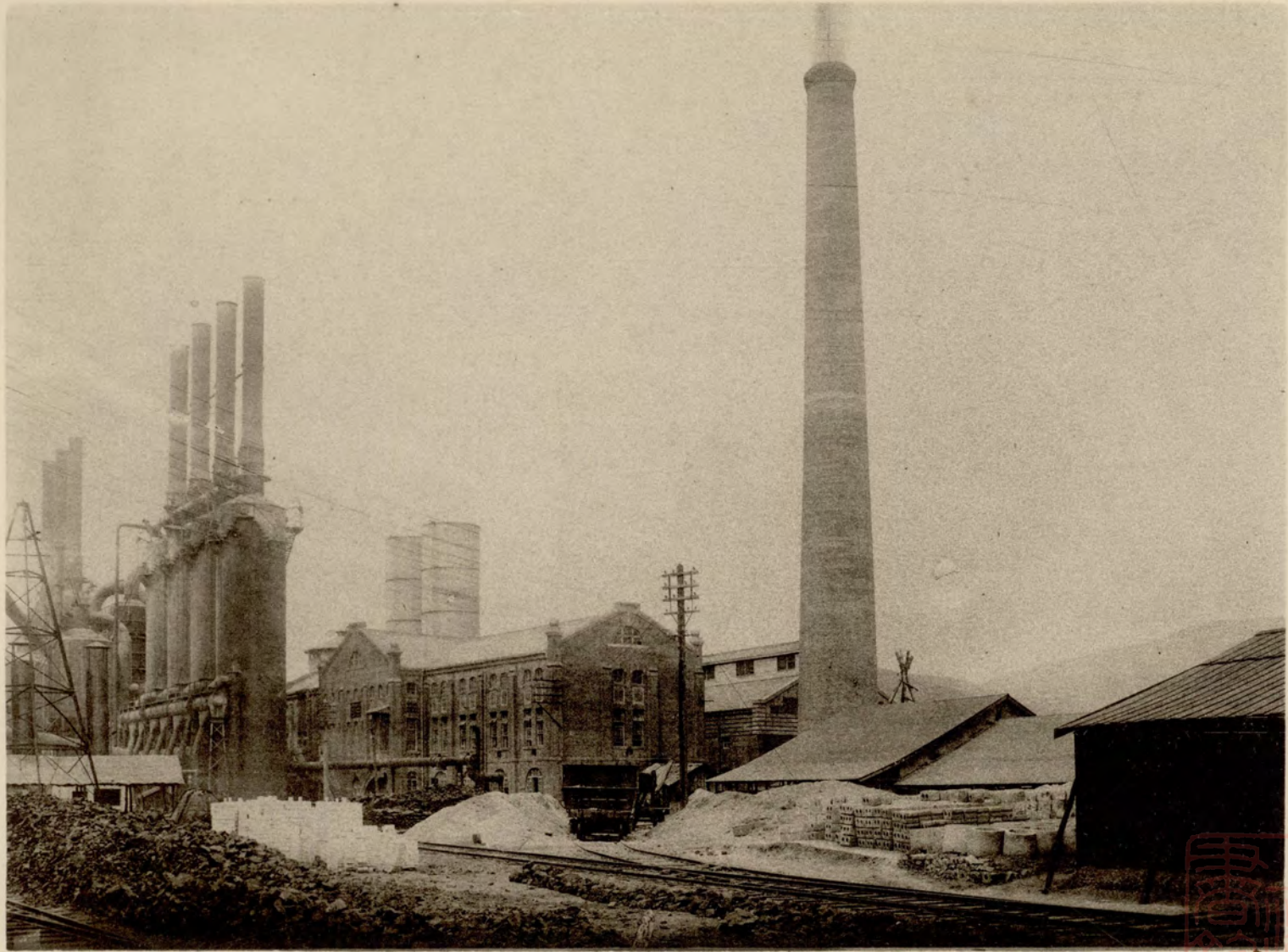




(三十二)

部 內 場 罐 汽 貳 第

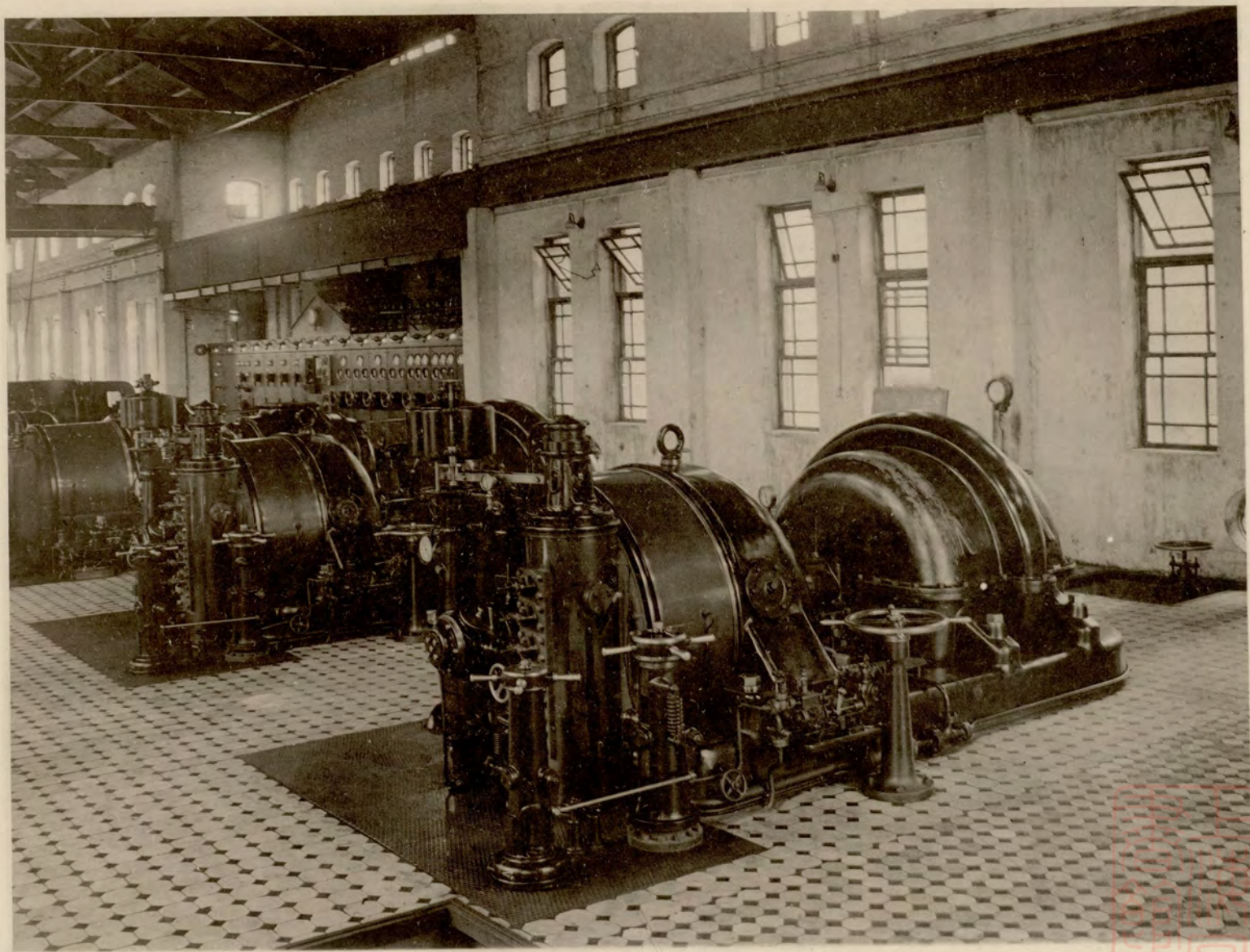




(四十二)

近 附 所 電 發





(五十二)

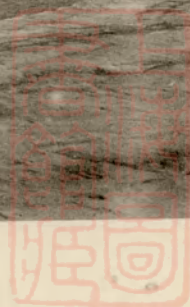
部 內 所 電 發





(六十二)

水道聚水塔及唧筒室

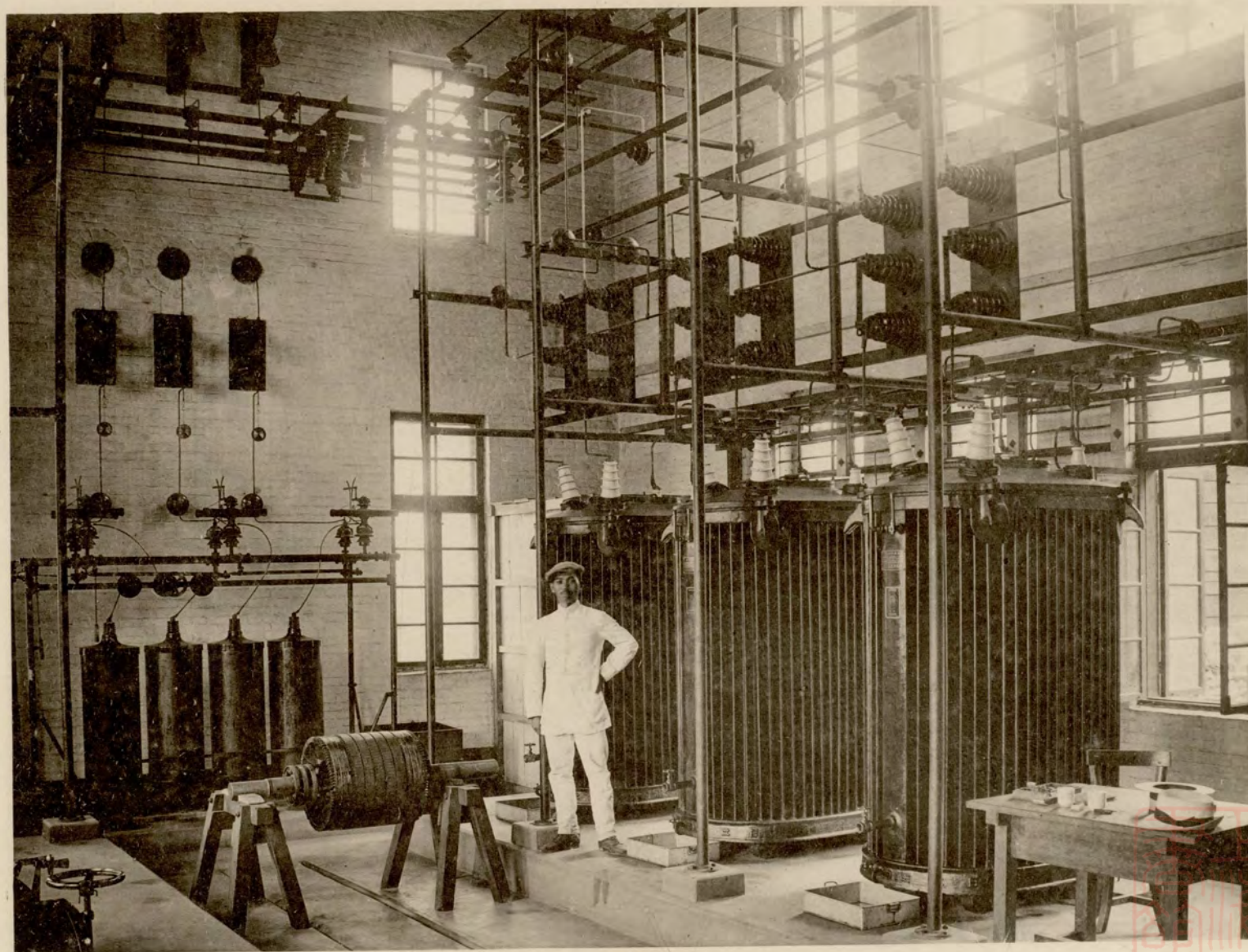




(七十二)

本溪湖變電所

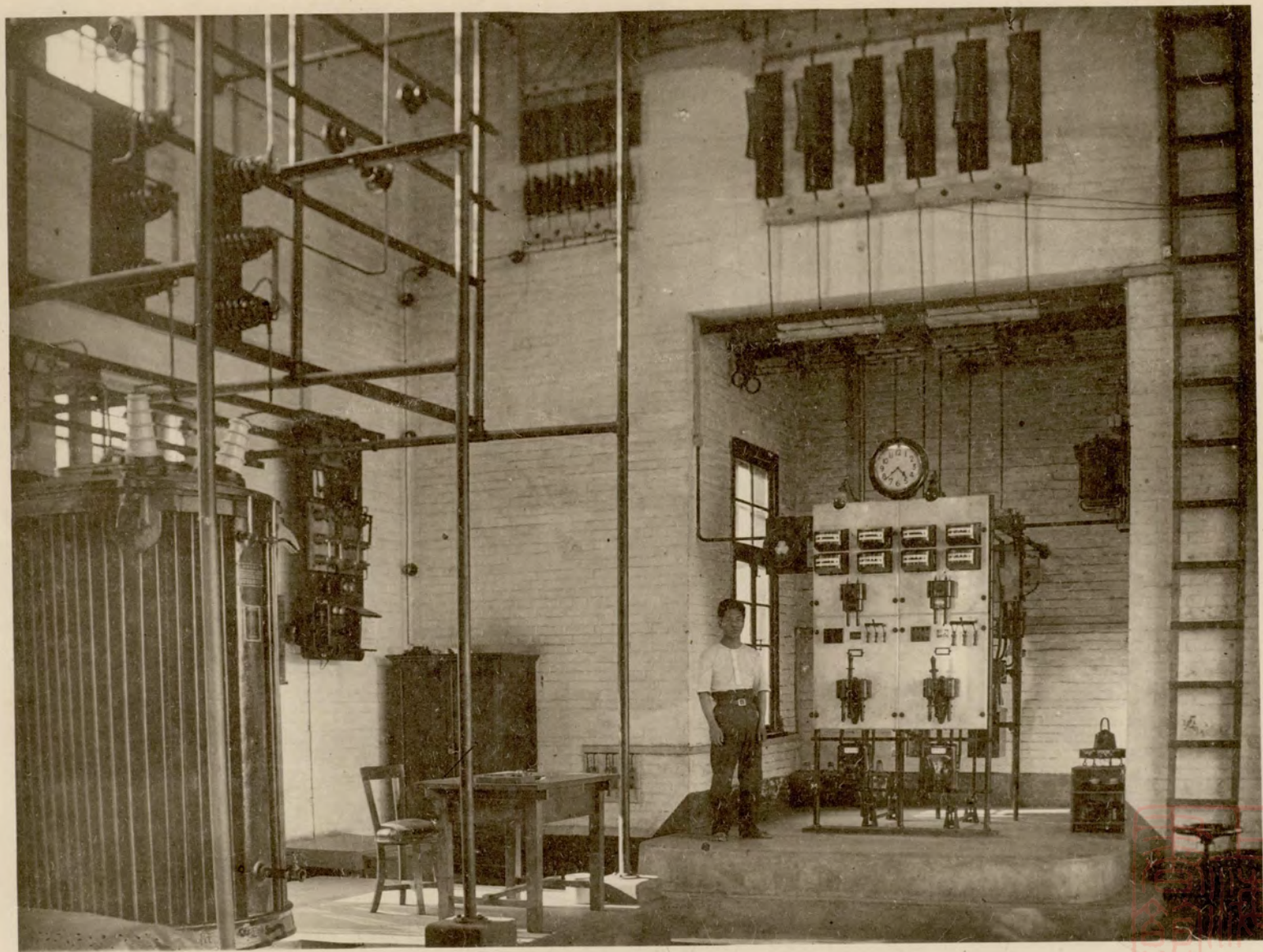




(八廿二)

(一ノ其) 部 内 所 電 變 湖 溪 本





(九十二)

本溪湖變電所內部(其二)





(十三)

中 央 工 場 全 景







(一十三)

場 冶 鍛 場 工 央 中





(二十三)

場 罐 製 場 工 央 中





(三十三)

場 型 木 場 工 央 中

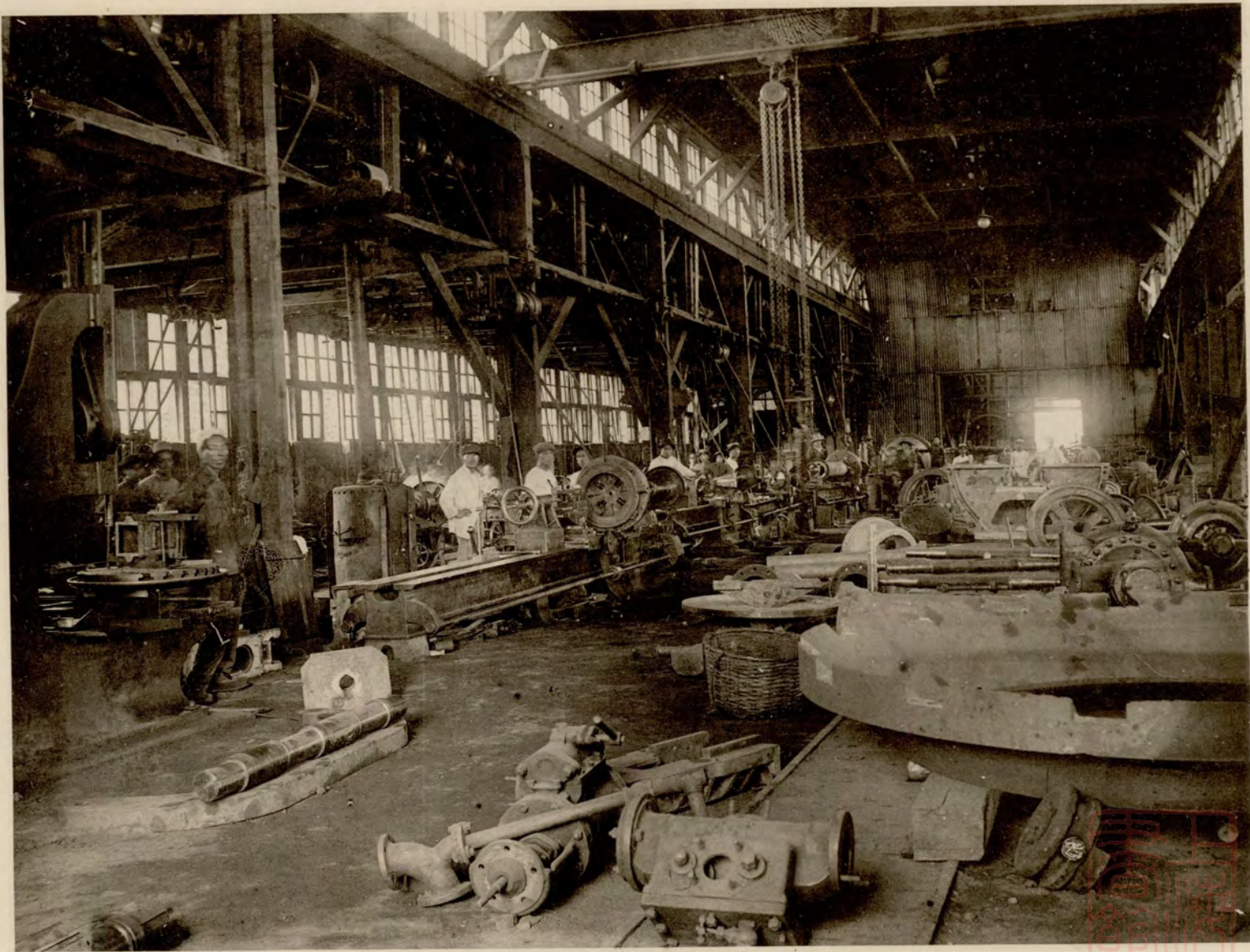




(四十三)

場物鑄場工央中





(五十三)

場盤旋場工央中

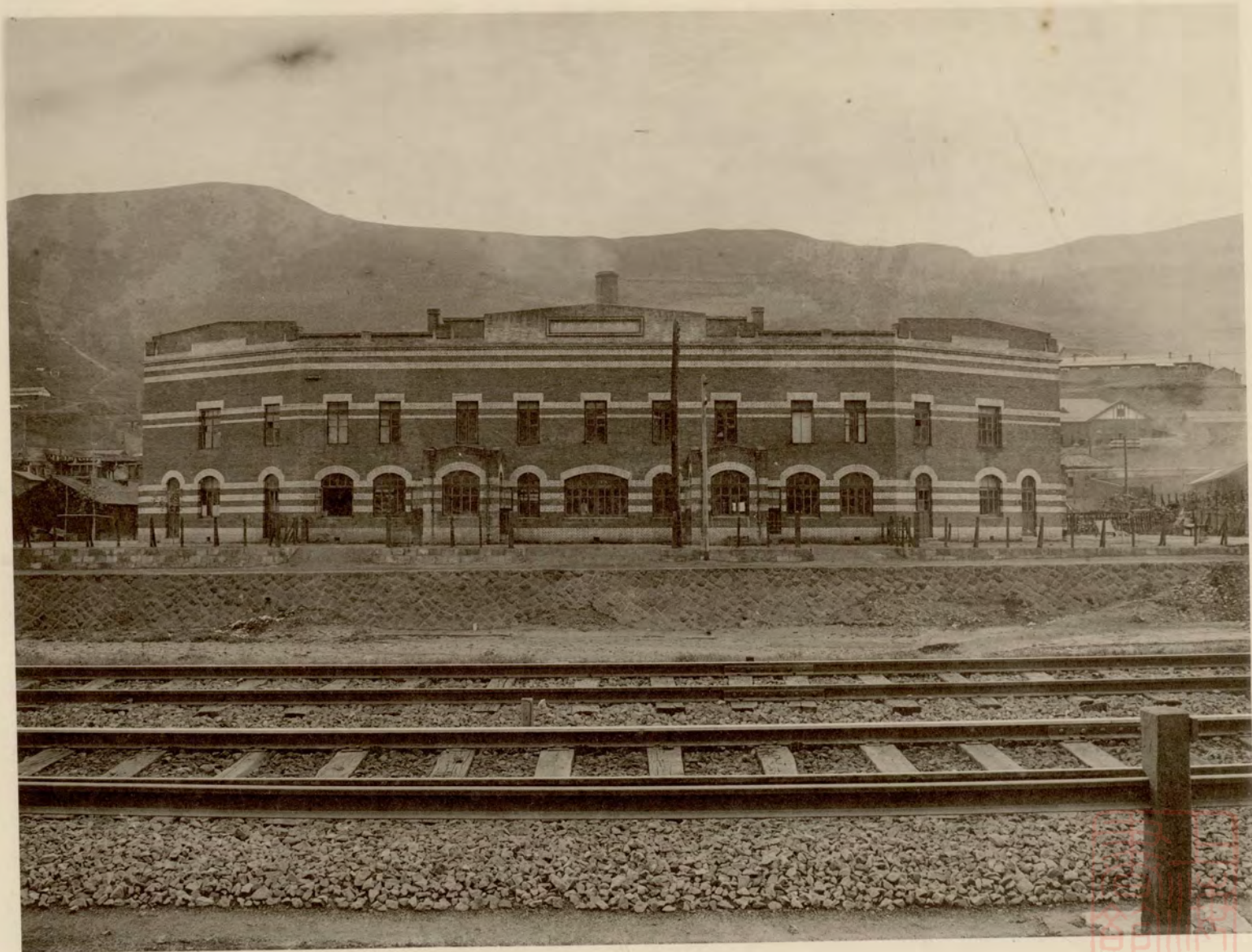




(六十三)

院 病 屬 附

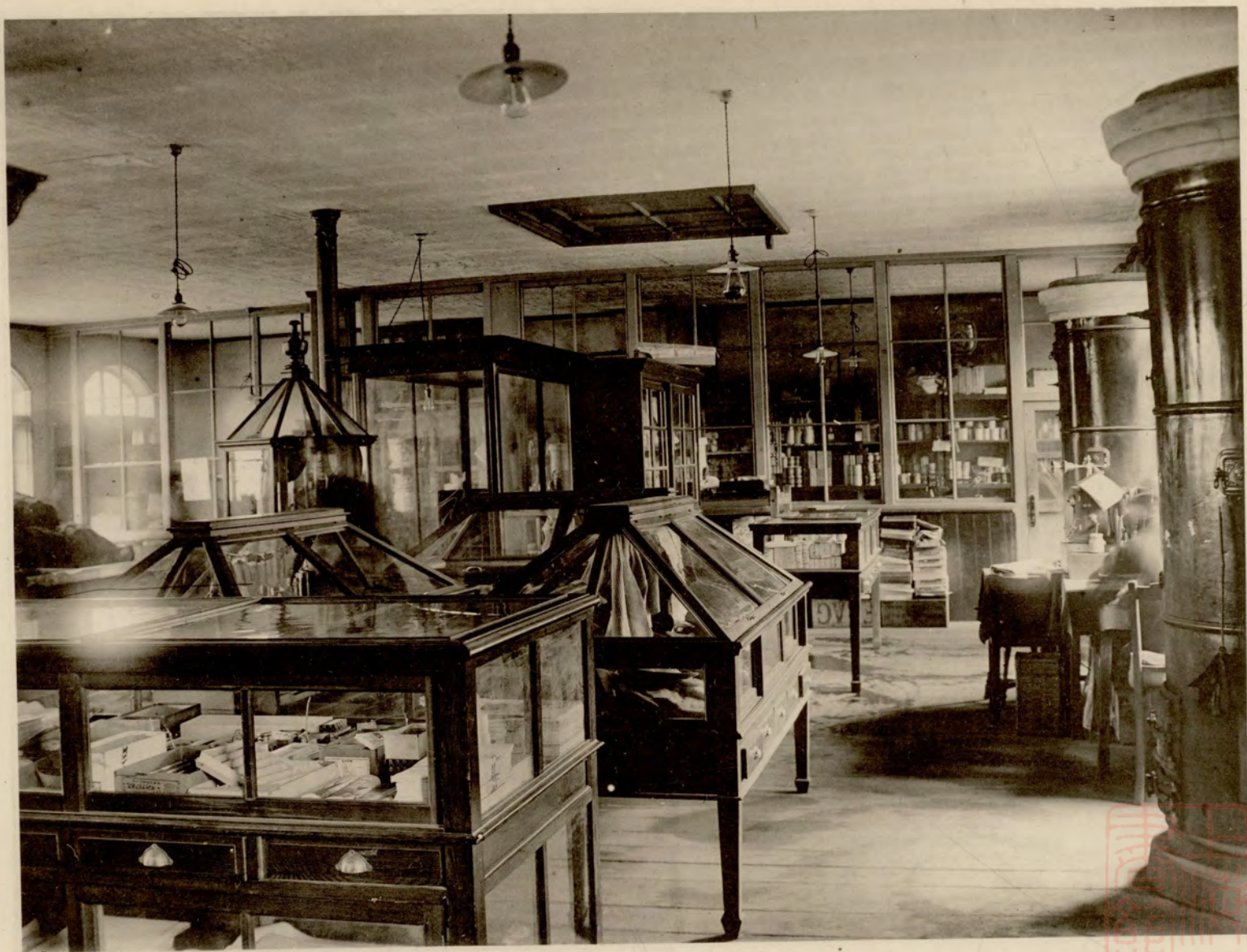




(七十三)

所 給 配 品 用 日





(八十三)

場 列 陳 所 給 配







(九十三)

倉庫全景





(十四)  
坑木置場

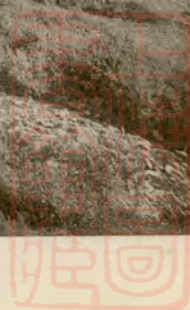




北距南坎驛五英里(添設輕便鐵路)(本溪縣界)

(一十四)

廟兒溝鐵山全景

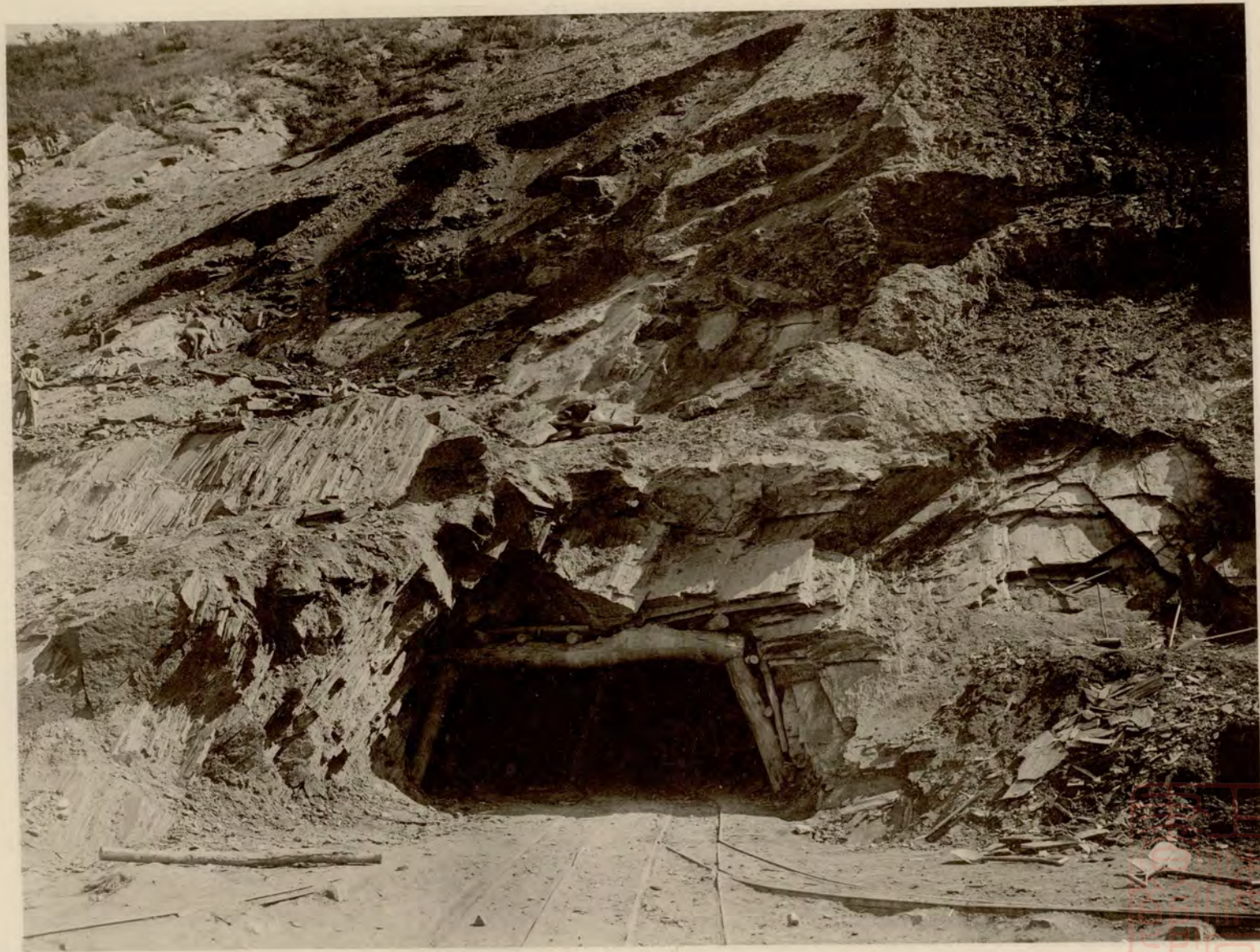




(二十四)

廟兒溝鐵山鑛床露頭





(三十四)

廟兒溝鐵山一號坑口





(四十四)

廟兒溝鐵山一壩土砂採掘場





(五十四)

所務事及口々坑番四山鐵溝兒廟





(六十四)

橋棧込積麓山山鐵溝兒廟

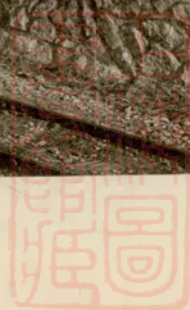






(七十四)

南 坎 鑛 石 積 込 棧 橋

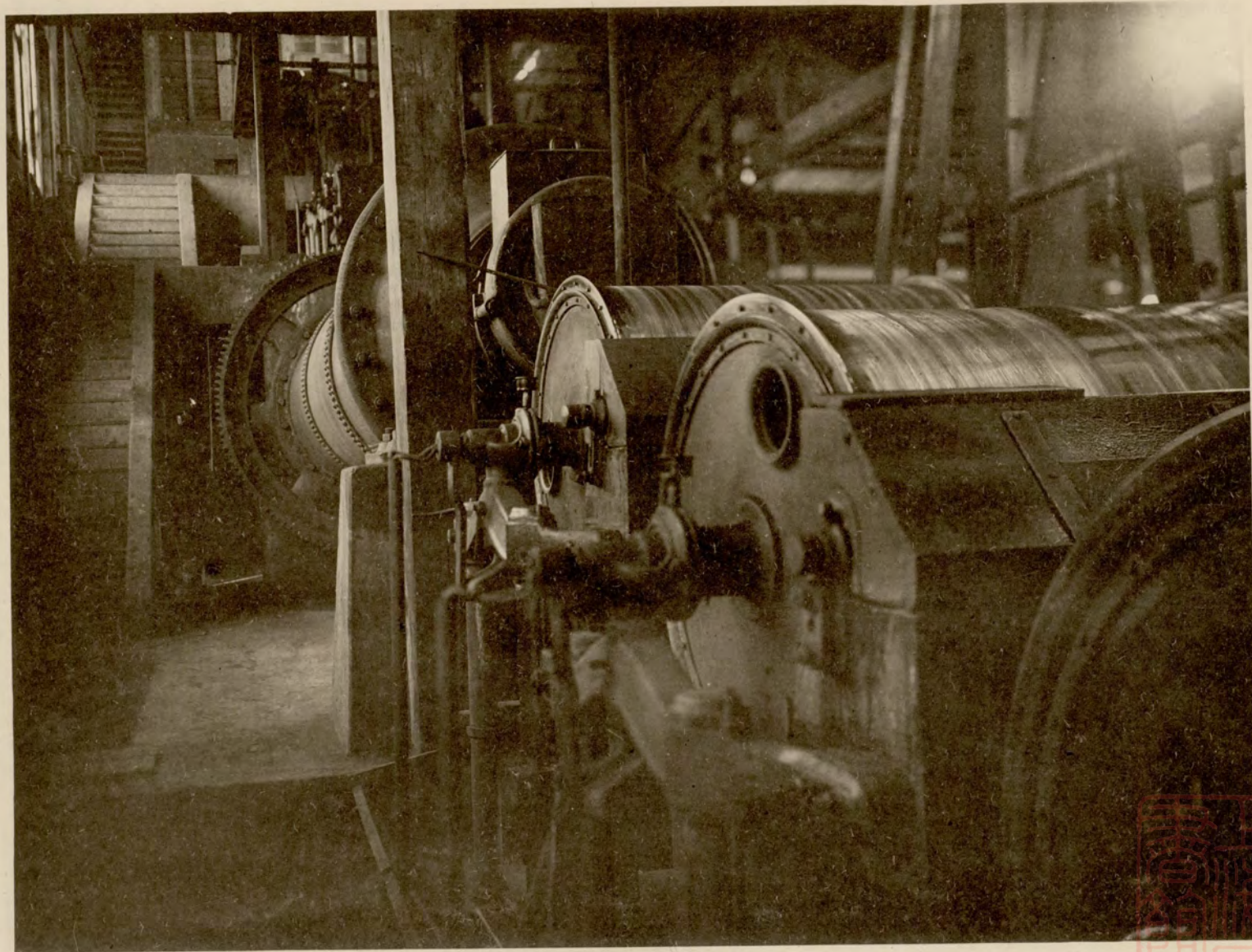




(八十四)

南 坎 選 礦 場

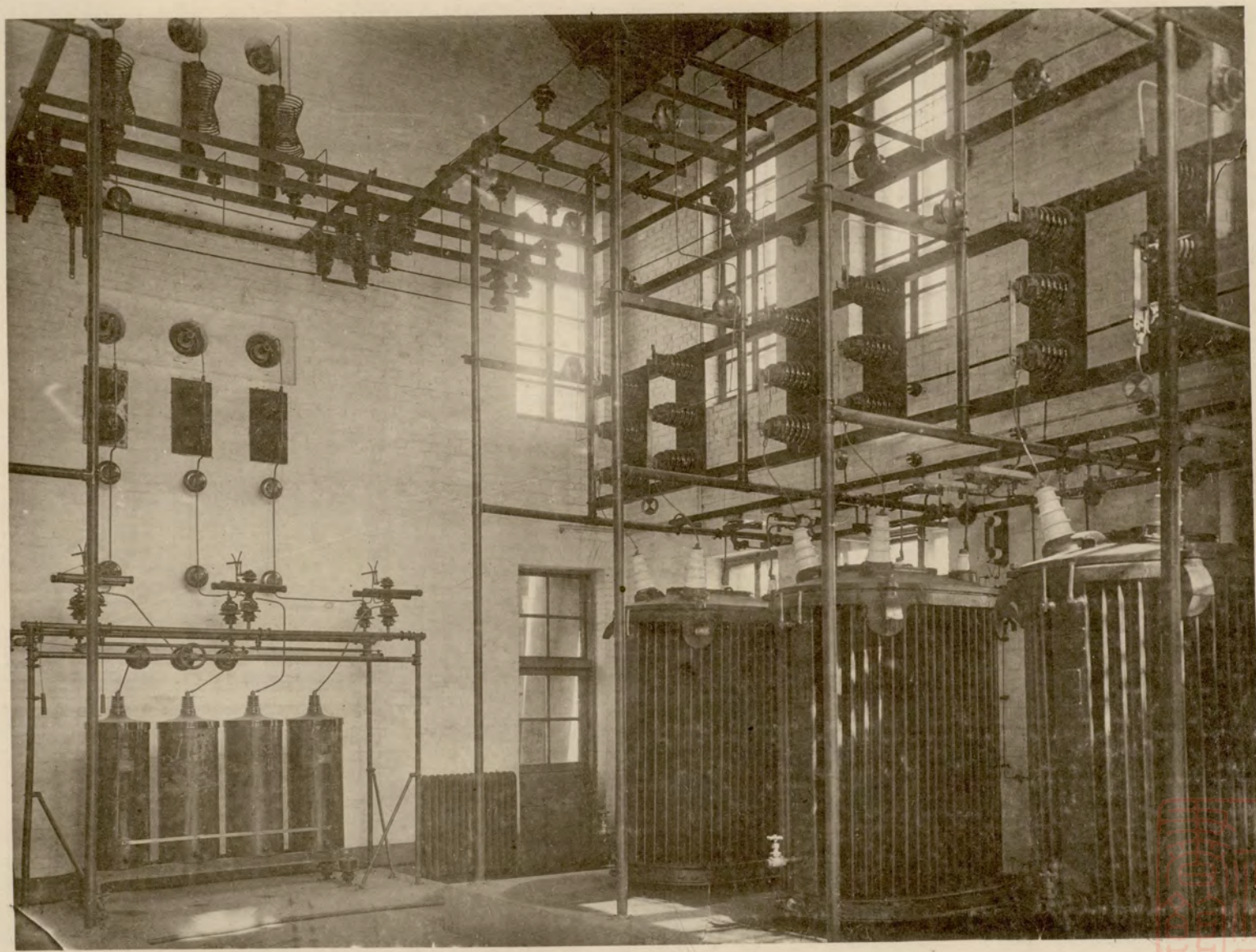




(九十四)

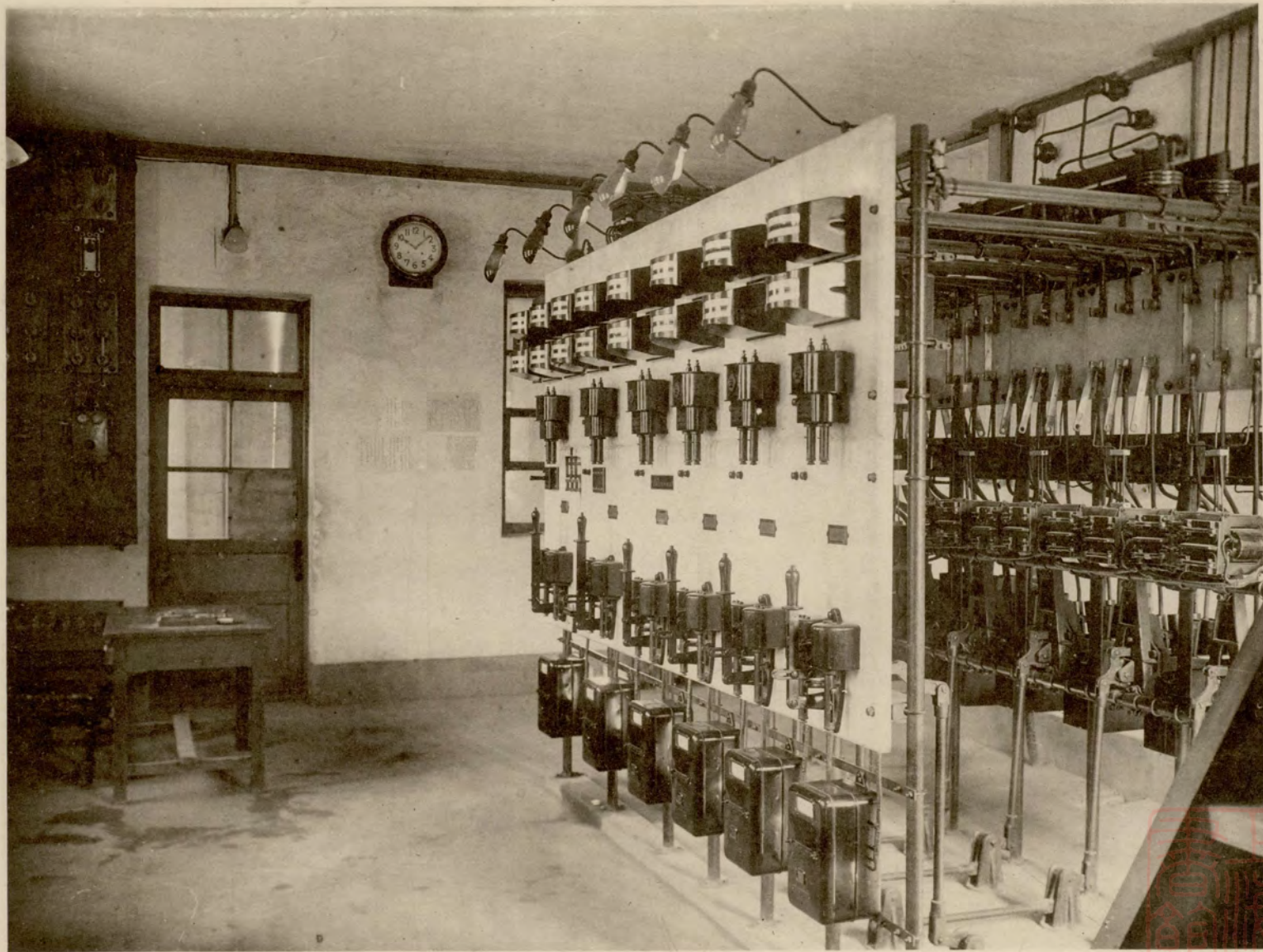
南 坎 選 礦 場 內 部





(十五)  
(一ノ其) 部 内 所 電 變 坂 南





(一十五)

南 坎 變 電 所 內 部 (共 二)





(二十五)

橋頭變電所



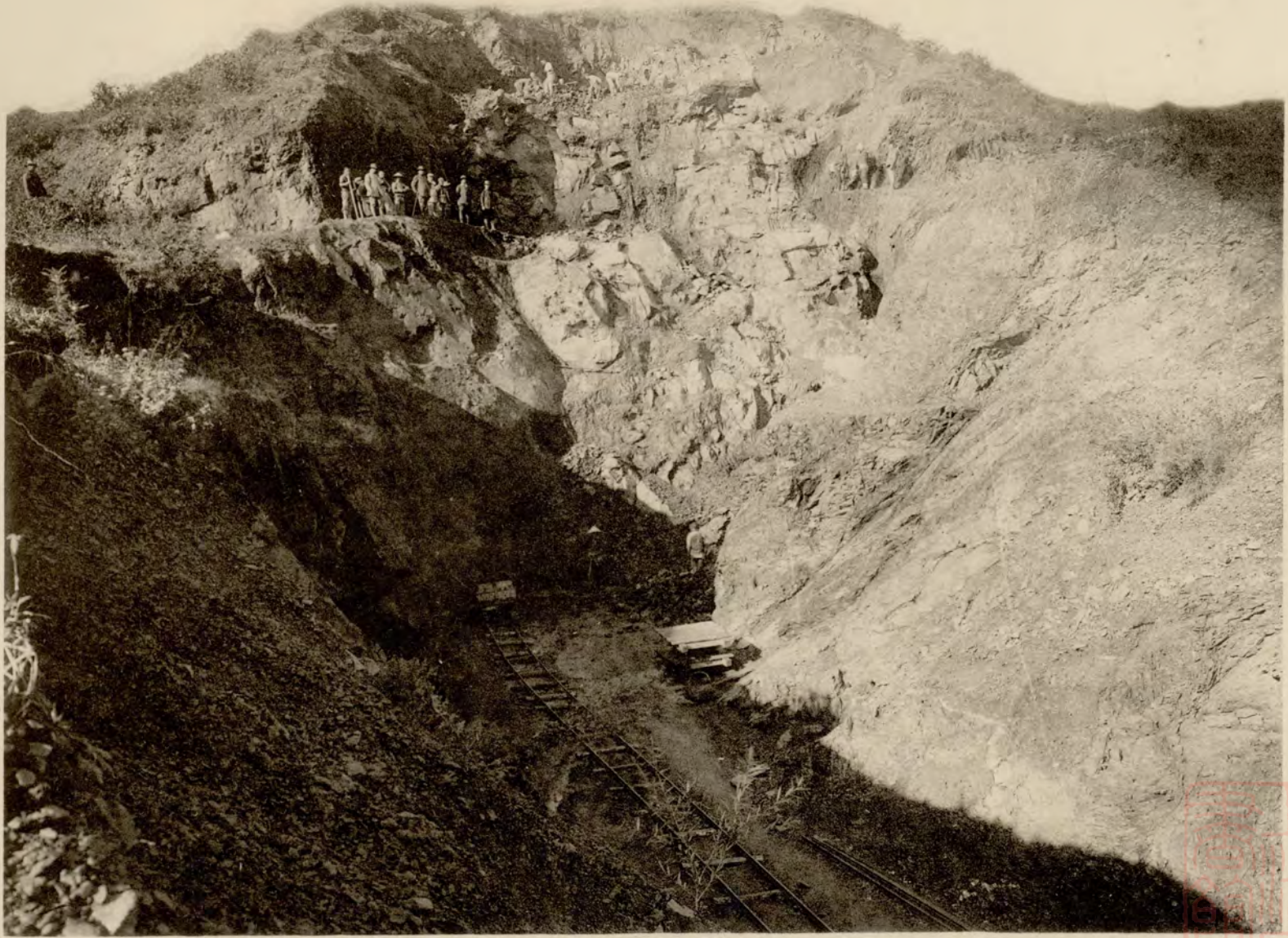
南距橋頭驛六拾支里(遼陽縣界)



(三十五)

八盤嶺鐵山全景





(四十五)

八盤嶺鐵山鑛石採掘場





南距通遠堡驛拾七支里(鳳城縣界)



(五十五)

通 遠 堡 鐵 山



東距縣街百貳拾支里(本溪縣界)



(六十五)

駝背子鐵山全景



東距縣街百六拾支里(本溪縣界)



(七十五)

駱駝背子鐵山舊坑跡



南距姚千戶屯驛拾貳支里(瀋陽縣界)



(八十五)

山 鐵 峪 金 載



南距姚千戶屯驛拾貳支里(審陽縣界)



(九十五)

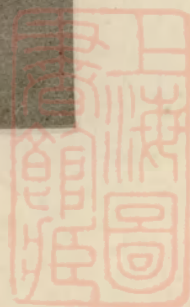
山 鐵 山 頭 歪



西距本溪縣街參拾支里(遼陽縣界)



(十六)  
(一ノ其) 山 鐵 沿 河 太



西距本溪縣街參拾支里(遼陽縣界)



(一 + 六)

(二ノ其) 山 鐵 沿 河 太



西距火連寨驛拾支里(本溪縣界)



(二十六)

(一ノ其) 山 鐵 溝 樹 梨







西距火連寨驛拾支里(本溪縣界)

(三十六)  
(二ノ其) 山 鐵 溝 樹 梨



東距縣街百六拾支里(本溪縣界)



(四十六)

隱樹望溝坑木用山林





東距縣街百六拾支里(本溪縣界)

(五十六)

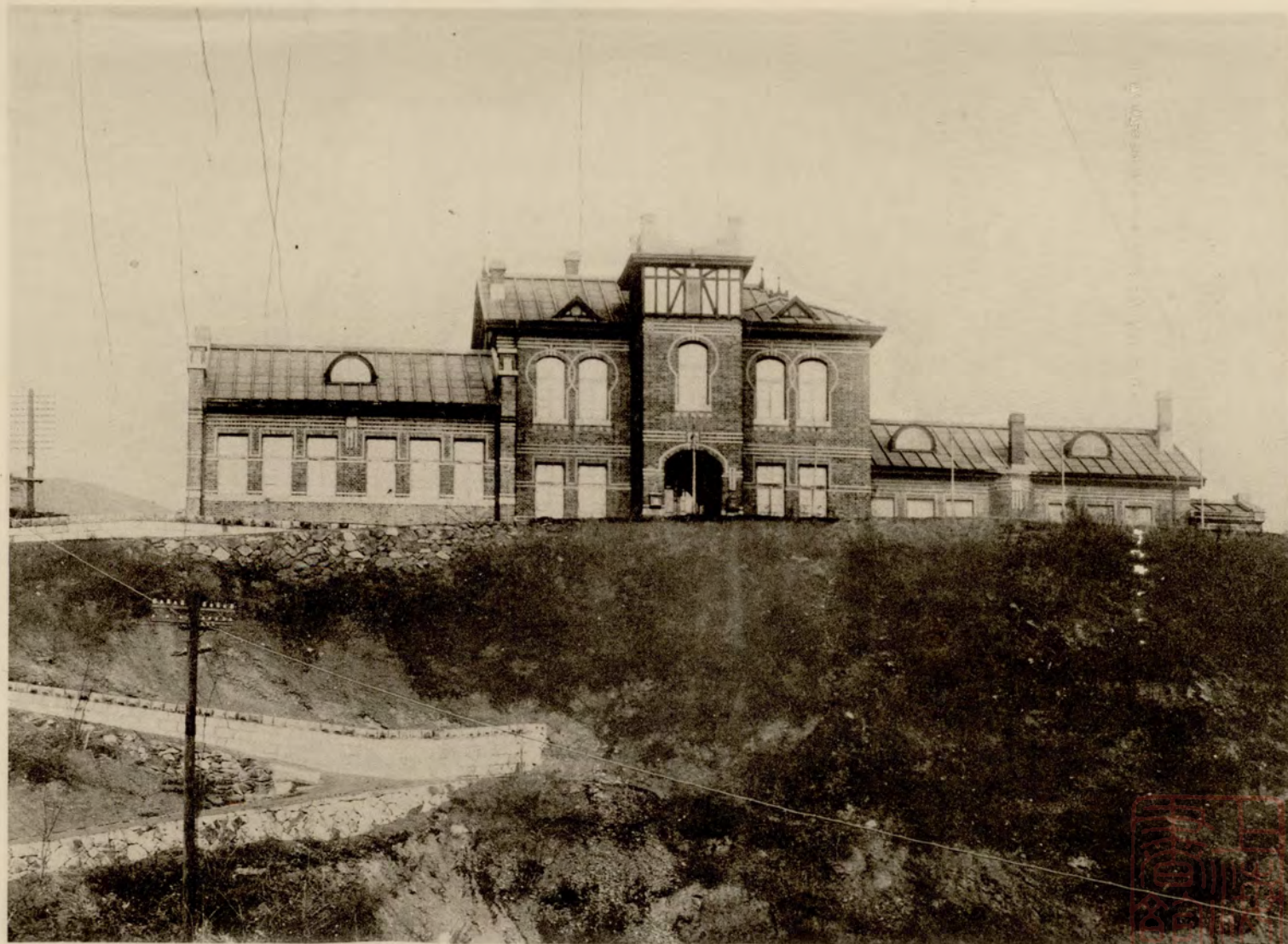
林山用木坑溝跨茨





(六十六)  
公 司 本 事 務 所





(七十六)

鶴友俱樂部

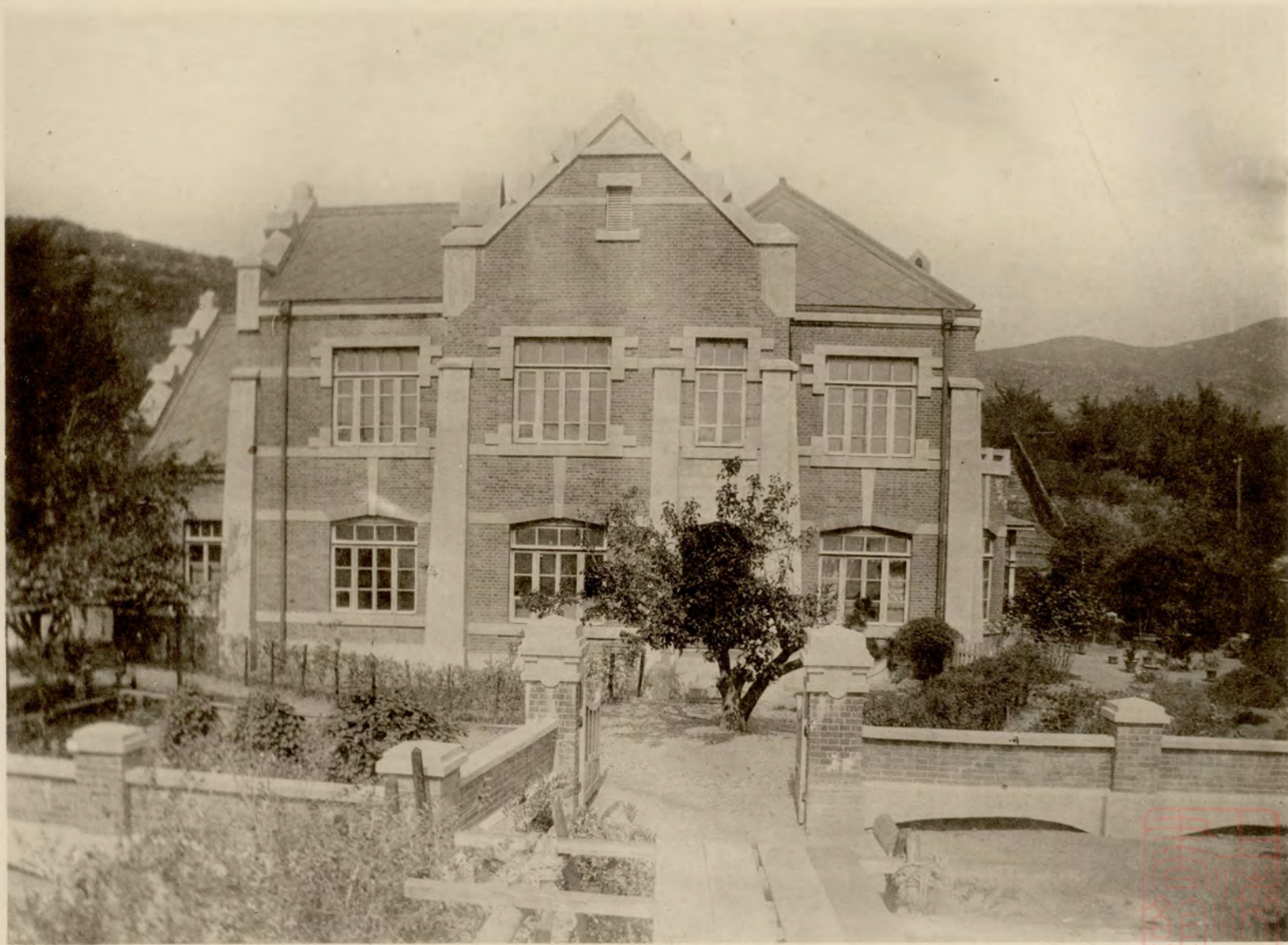




(八十六)

中國總辦舍宅





(九十六)  
日本總辦舍宅





(十七)

日本理事舍宅







(一十七)

溪 陽 舍 (職員宿舍)





(二十七)  
東 山 職 員 舍 宅





(三十七)  
山西 職 員 舍 宅





(四十七)

南 山 日 本 職 工 舍 宅





(五十七)

(一ノ其) 宅舍工 華山南





(六十七)

(二ノ其) 宅舍工 羣山南





(七十七)

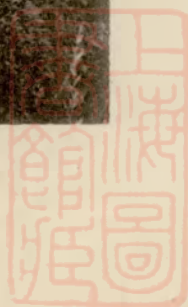
碑 悼 追 者 職 殉





(八十七)

山西ヨリ眺タル本溪湖全景







(九十七)  
市 湖 溪 本





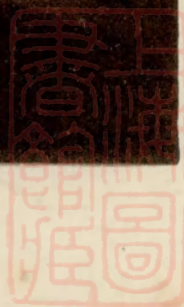
全街 (七十九) 景





(十八)

街 本 日 湖 溪 本





(一十六)

街 國 中 湖 溪 本





(二十八)

橋 鐵 河 子 太





(三十八)  
景 之 山 兜



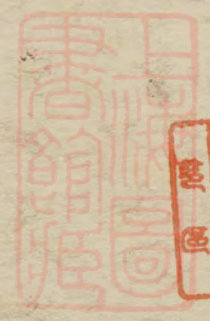
上海图书馆藏书



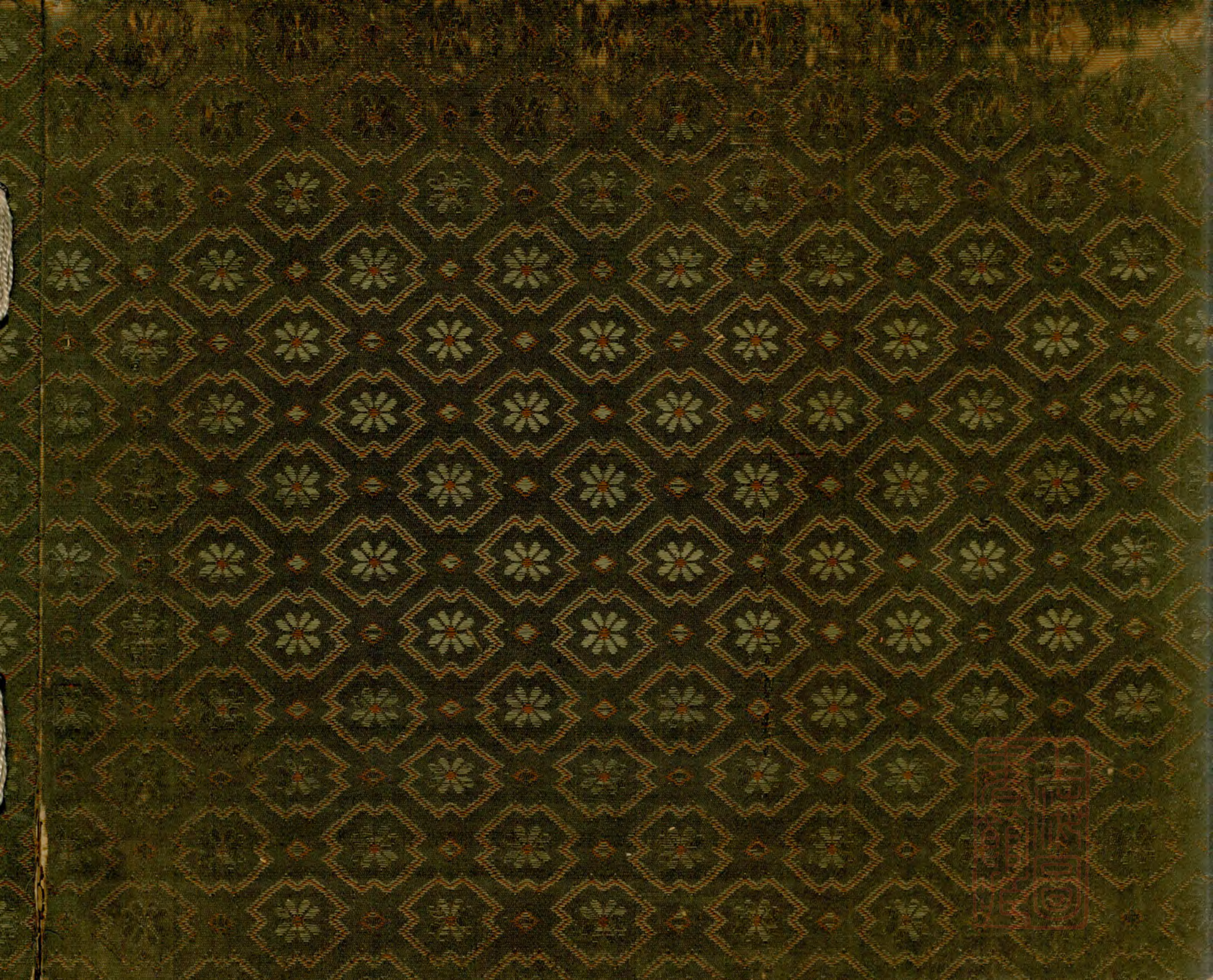
A541 212 0008 4237B



南京  
丸  
木  
廣  
德







Red square seal with Chinese characters, likely a collector's or publisher's mark.